

(様式第10)

番 番 鹿大病総363 号
令和 7年 10月 3日
厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人鹿児島大学長
井戸 章雄

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 6 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
電話(099) 275 — 5111(代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	
内科と組み合わせた診療科名等	
<input type="radio"/> 1呼吸器内科	<input type="radio"/> 2消化器内科
<input type="radio"/> 5神経内科	<input type="radio"/> 6血液内科
<input type="radio"/> 9感染症内科	<input type="radio"/> 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
<input type="radio"/> 11リウマチ科	

診療実績

「腎臓内科」・「血液内科」・「内分泌内科」の診療内容は「内科」、「神経内科」の診療内容は「脳神経内科」、「代謝内科」・「感染症内科」・「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は、「皮膚科」・「耳鼻咽喉科」・「呼吸器内科」等の複数の診療科で提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科					
外科と組み合わせた診療科名					
<input type="radio"/>	1呼吸器外科	<input type="radio"/>	2消化器外科	<input type="radio"/>	3乳腺外科
<input type="radio"/>	5血管外科	<input type="radio"/>	6心臓血管外科	<input type="radio"/>	7内分泌外科
<input type="radio"/>	8小児外科				
診療実績					
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は「外科」で提供している。					

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/>	1精神科	<input type="radio"/>	2小児科	<input type="radio"/>	3整形外科	<input type="radio"/>	4脳神経外科
<input type="radio"/>	5皮膚科	<input type="radio"/>	6泌尿器科	<input type="radio"/>	7産婦人科	<input type="radio"/>	8産科
<input type="radio"/>	9婦人科	<input type="radio"/>	10眼科	<input type="radio"/>	11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/>	12放射線科
<input type="radio"/>	13放射線診断科	<input type="radio"/>	14放射線治療科	<input type="radio"/>	15麻酔科	<input type="radio"/>	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4)歯科

歯科					
歯科と組み合わせた診療科名					
<input type="radio"/>	1小児歯科	<input type="radio"/>	2矯正歯科	<input type="radio"/>	3歯科口腔外科
歯科の診療体制					

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	心療内科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	臨床検査科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	2			630	672

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	227	282	419.6
歯科医師	95	42	114.8
薬剤師	52	4	54.4
保健師	0	0	0
助産師	17	2	18.2
看護師	705	54	739.5
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	14	2	16
管理栄養士	12	6	18

職種	員数
看護補助者	67
理学療法士	27
作業療法士	11
視能訓練士	8
義肢装具士	0
臨床工学士	30
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	40

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査技師	50	
臨床検査	衛生検査技師	0
その他	4	
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	15	
その他の技術員	21	
事務職員	179	
その他の職員	63	

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	56	眼科専門医	10
外科専門医	37	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	13	放射線科専門医	19
小児科専門医	16	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	4	整形外科専門医	15
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	18	救急科専門医	13
合計			249

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名	(石塚 賢治)	任命年月日	令和 7 年 4 月 1 日
・副病院長(医科担当):令和2年度～令和6年度			
・医療安全管理委員会 委員:令和2年度～令和4年度、令和7年度			
・感染症対策委員会 委員:令和2年度～令和5年度、令和7年度			

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	497.3 人	22.2 人	519.5 人
1日当たり平均外来患者数	1210.4 人	385.5 人	1595.9 人
1日当たり平均調剤数		1063 剤	
必要医師数		123 人	

必要歯科医師数	7	人
必要薬剤師数	18	人
必要(准)看護師数	315	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要				
集中治療室	320 m ²	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	14 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有	
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	379 0	m ² 台	病床数 24	床	
医薬品情報 管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床面積 共用する室名		m ²	病理薬剤業務管理室		
化学検査室	304 m ²	鉄筋コンクリート (主な設備)	生化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ、顕微鏡				
細菌検査室	45 m ²	鉄筋コンクリート (主な設備)	血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分質量分析装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、遺伝子抽出装置、好気培養装置、顕微鏡				
病理検査室	306 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート (主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式ミクロトーム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置				
病理解剖室	56 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート (主な設備)	バイオハザード対応排気システム				
研究室	8026 m ²	鉄筋コンクリート (主な設備)	ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡				
講義室	655 m ²	鉄筋コンクリート 室数	3 室	収容定員 499 人			
図書室	2,007 m ²	鉄筋コンクリート 室数	11 室	蔵書数 122,344 冊程度			

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.5	%	逆紹介率	70.9	%
	A:紹介患者の数			15424	人
算出	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14069	人

根拠	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	1149	人
	D:初診の患者の数	19842	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
吉村 麻里子	佐賀大学医学部附属病院	○	医療安全管理に関する識見を有する者	無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 紗	NPO法人 がんサポートかごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
鹿児島大学ホームページに掲載。	

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注)2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	下垂体性ADH分泌異常症	20
2	筋萎縮性側索硬化症	17	57	下垂体性TSH分泌亢進症	3
3	脊髄性筋萎縮症	33	58	下垂体性PRL分泌亢進症	5
4	進行性核上性麻痺	4	59	クッシング病	14
5	パーキンソン病	87	60	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
6	大脳皮質基底核変性症	2	61	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
7	シャルコー・マリー・トゥース病	3	62	下垂体前葉機能低下症	179
8	重症筋無力症	87	63	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1
9	多発性硬化症／視神経脊髄炎	73	64	先天性副腎皮質酵素欠損症	7
10	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	17	65	アジソン病	2
11	封入体筋炎	4	66	サルコイドーシス	83
12	クロウ・深瀬症候群	3	67	特発性間質性肺炎	56
13	多系統萎縮症	10	68	肺動脈性肺高血圧症	75
14	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	39	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	74
15	ライソゾーム病	9	70	リンパ脈管筋腫症	4
16	ミトコンドリア病	26	71	網膜色素変性症	39
17	もやもや病	61	72	バッド・キアリ症候群	1
18	プリオントロフィー	3	73	原発性胆汁性胆管炎	18
19	HTLV-1関連脊髄症	24	74	原発性硬化性胆管炎	8
20	全身性アミロイドーシス	36	75	自己免疫性肝炎	24
21	神経線維腫症	51	76	クローン病	130
22	天疱瘡	14	77	潰瘍性大腸炎	117
23	表皮水疱症	2	78	好酸球性消化管疾患	7
24	膿疱性乾癬（汎発型）	15	79	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
25	高安動脈炎	20	80	コステロ症候群	1
26	巨細胞性動脈炎	12	81	チャージ症候群	4
27	結節性多発動脈炎	5	82	クリオピリン関連周期熱症候群	3
28	顯微鏡的多発血管炎	24	83	若年性特発性関節炎	9
29	多発血管炎性肉芽腫症	11	84	先天性ミオパシー	2
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	22	85	筋ジストロフィー	20
31	悪性関節リウマチ	5	86	脊髄空洞症	5
32	バージャー病	6	87	脊髄髓膜瘤	1
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	88	アイザックス症候群	7
34	全身性エリテマトーデス	322	89	遺伝性ジストニア	2
35	皮膚筋炎／多発性筋炎	132	90	脳表ヘモジデリン沈着症	2
36	全身性強皮症	135	91	前頭側頭葉変性症	3
37	混合性結合組織病	39	92	限局性皮質異形成	1
38	シェーグレン症候群	56	93	神経細胞移動異常症	2
39	成人スチル病	20	94	ウエスト症候群	1
40	再発性多発軟骨炎	3	95	結節性硬化症	7
41	ベーチェット病	90	96	先天性魚鱗癬	1
42	特発性拡張型心筋症	52	97	家族性良性慢性天疱瘡	1
43	肥大型心筋症	17	98	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	31
44	再生不良性貧血	12	99	特発性後天性全身性無汗症	4
45	自己免疫性溶血性貧血	5	100	弾性線維性仮性黄色腫	2
46	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	101	マルファン症候群	9
47	免疫性血小板減少症	33	102	エーラス・ダンロス症候群	2
48	血栓性血小板減少性紫斑病	2	103	ウィルソン病	5

49	原発性免疫不全症候群	13	104	ウィリアムズ症候群	1
50	IgA腎症	33	105	アントレー・ビクスラー症候群	2
51	多発性囊胞腎	32	106	多脾症候群	1
52	黄色韌帶骨化症	14	107	無脾症候群	5
53	後縦韌帶骨化症	87	108	ウェルナー症候群	4
54	広範脊柱管狭窄症	1	109	プラダー・ウィリ症候群	7
55	特発性大腿骨頭壞死症	31	110	ヌーナン症候群	2
			111	22q11.2欠失症候群	2
			112	完全大血管転位症	2
			113	単心室症	13
			114	左心低形成症候群	6
			115	三尖弁閉鎖症	6
			116	ファロー四徴症	10
			117	両大血管右室起始症	4
			118	エプスタイン病	3
			119	アルポート症候群	1
			120	急速進行性糸球体腎炎	2
			121	抗糸球体基底膜腎炎	1
			122	一次性ネフローゼ症候群	20
			123	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
			124	紫斑病性腎炎	3
			125	間質性膀胱炎（ハンナ型）	5
			126	オスラー病	8
			127	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
			128	肺胞低換気症候群	2
			129	α 1-アンチトリプシン欠乏症	1
			130	副甲状腺機能低下症	1
			131	偽性副甲状腺機能低下症	1
			132	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3
			133	フェニルケトン尿症	1
			134	プロピオン酸血症	1
			135	メチルマロン酸血症	2
			136	グルタル酸血症1型	2
			137	筋型糖原病	1
			138	肝型糖原病	1
			139	シトステロール血症	1
			140	家族性地中海熱	1
			141	慢性再発性多発性骨髓炎	1
			142	強直性脊椎炎	5
			143	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	1
			144	ダイアモンド・ブラックファン貧血	1
			145	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
			146	クロンカイト・カナダ症候群	2
			147	総排泄腔遺残	4
			148	胆道閉鎖症	6
			149	遺伝性膵炎	2
			150	囊胞性線維症	2
			151	IgG4関連疾患	17
			152	黄斑ジストロフィー	3
			153	好酸球性副鼻腔炎	48
			154	進行性ミオクローヌスてんかん	1
			155	特発性多中心性キャッスルマン病	5
			156	ホモシスチン尿	1

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	156
合計患者数(人)	3106

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	160	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数(例)	7
	剖検率(%)	3

1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
医療DX推進体制整備加算	重症患者初期支援充実加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療感染対策加算4	ハイリスク分娩管理加算
歯科診療特別対応連携加算	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料	バイオ後続品使用体制加算
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算1
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算2
診療録管理体制加算2	データ提出加算
医師事務作業補助体制加算1	入退院支援加算
急性期看護補助体制加算	認知症ケア加算【加算1】
看護職員夜間配置加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
療養環境加算	精神疾患診療体制加算
重症者等療養環境特別加算	精神科急性期医師配置加算
無菌治療室管理加算1	地域医療体制確保加算
無菌治療室管理加算2	救命救急入院料1
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	特定集中治療室管理料1
緩和ケア診療加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
小児緩和ケア診療加算	新生児特定集中治療室管理料1
精神科身体合併症管理加算	小児入院医療管理料2
精神科リエゾンチーム加算	特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
摂食障害入院医療管理加算	入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染対策向上加算1	
患者サポート体制充実加算	

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)①

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	ニコチン依存症管理料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	がん治療連携計画策定料
糖尿病合併症管理料	ハイリスク妊娠婦連携指導料2
がん性疼痛緩和指導管理料	肝炎インターフェロン治療計画料
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	薬剤管理指導料
がん患者指導管理料イ	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
がん患者指導管理料ロ	医療機器安全管理料1
がん患者指導管理料ハ	医療機器安全管理料2
がん患者指導管理料ニ	歯科治療時医療管理料
外来緩和ケア管理料	在宅患者歯科治療時医療管理料
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
小児運動器疾患指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
婦人科特定疾患治療管理料	遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
腎代替療法指導管理料	染色体検査の注2に規定する施設基準
一般不妊治療管理料	骨髄微小残存病変量測定
生殖補助医療管理料2	BRCA1／2遺伝子検査
二次性骨折予防継続管理料1	がんゲノムプロファイリング検査
二次性骨折予防継続管理料3	先天性代謝異常症検査
下肢創傷処置管理料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来放射線照射診療料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
外来腫瘍化学療法診療料1	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
外来腫瘍化学療法診療料の注8に規定する連携充実加算	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)②

施設基準の種類	施設基準の種類
検体検査管理加算(1)	有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
検体検査管理加算(4)	有床義歯咀嚼機能検査2のイ
国際標準検査管理加算	有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査
遺伝カウンセリング加算	精密触覚機能検査
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	画像診断管理加算4
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	歯科画像診断管理加算1
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歯科画像診断管理加算2
胎児心エコー法	ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
ヘッドアップティルト試験	ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
人工臍臓検査、人工臍臓療法	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
長期継続頭蓋内脳波検査	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
長期脳波ビデオ同時記録検査1	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
脳波検査判断料1	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
神経学的検査	CT撮影及びMRI撮影
補聴器適合検査	冠動脈CT撮影加算
黄斑局所網膜電図	血流予備量比コンピューター断層撮影
全視野精密網膜電図	外傷全身CT加算
ロービジョン検査判断料	心臓MRI撮影加算
コンタクトレンズ検査料1	乳房MRI撮影加算
小児食物アレルギー負荷検査	小児鎮静下MRI撮影加算
内服・点滴誘発試験	頭部MRI撮影加算
経頸静脈的肝生検	全身MRI撮影加算
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
経気管支凍結生検法	外来化学療法加算1
口腔細菌定量検査	無菌製剤処理料
有床義歯咀嚼機能検査1のイ	心大血管疾患リハビリテーション料(1)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)③

施設基準の種類	施設基準の種類
脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
運動器リハビリテーション料(1)	椎間板内酵素注入療法
呼吸器リハビリテーション料(1)	緊急穿頭血腫除去術
がん患者リハビリテーション料	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
歯科口腔リハビリテーション料2	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
認知療法・認知行動療法1	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
医療保護入院等診療料	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
エタノールの局所注入(甲状腺)	角結膜悪性腫瘍切除術
エタノールの局所注入(副甲状腺)	角膜移植術(内皮移植加算)
人工腎臓	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
導入期加算3及び腎代替療法実績加算	緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
ストーマ合併症加算	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	網膜再建術
手術用顕微鏡加算	経外耳道の内視鏡下鼓室形成術
口腔粘膜処置	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
う蝕歯無痛的窓洞形成加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
光学印象	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工士連携加算1及び2	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)④

施設基準の種類	施設基準の種類
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	経皮的中隔心筋焼灼術
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
乳癌センチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
乳癌センチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
気管支バルブ留置術	補助人工心臓
胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的下肢動脈形成術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎孟)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
胸腔鏡下弁形成術	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
胸腔鏡下弁置換術	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的僧帽弁クリップ術	腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)⑤

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下胆囊悪性腫瘍手術(胆囊床切除を伴うもの)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下腔断端挙上術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下仙骨窿固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下脾腫瘍摘出術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下脾中央切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	体外式膜型人工肺管理料
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術)
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)
腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	子宮附属器腫瘍摘出手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	輸血管管理料2
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	コーディネート体制充実加算
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
同種死体腎移植術	同種クリオプレシピテート作製術
生体腎移植術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	歯周組織再生誘導手術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	手術時歯根面レーザー応用加算
尿道狭窄グラフト再建術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
人工尿道括約筋植込・置換術	歯根端切除手術の注3
精巢温存手術	レーザー機器加算
精巢内精子採取術	麻酔管理料(1)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	麻酔管理料(2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)⑥

施設基準の種類	施設基準の種類
周術期薬剤管理加算	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査
歯科麻酔管理料	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん
放射線治療専任加算	S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)
外来放射線治療加算	シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)
高エネルギー放射線治療	術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)
一回線量増加加算	酸素の購入価格に関する届出書
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
定位放射線治療	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
画像誘導密封小線源治療加算	
保険医療機関間の連携による病理診断	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
デジタル病理画像による病理診断	
病理診断管理加算2	
悪性腫瘍病理組織標本加算	
口腔病理診断管理加算2	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
歯科矯正診断料	
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	
看護職員待遇改善評価料(61)	
外来・在宅ベースアップ評価料(1)	
歯科外来・在宅ベースアップ評価料(1)	
入院ベースアップ評価料(78)	

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
垂水市在住一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	887,726	委 垂水市
【長寿研22-24】フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	大石 充	心臓血管内科	500,000	委 国立長寿医療研究センター
(地公)地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委 枕崎市立病院
肺疾患に伴う肺高血圧症に対する肺血管拡張薬の有用性の検討	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	委 垂水中央病院
肺疾患に伴う肺高血圧症に対する肺血管拡張薬の有用性の検討	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	委 えびの市
DDR(Dynamic Digital Radiography)を用いた肺高血圧症患者の呼吸機能障害の病態解明	宮永 直	心臓血管内科	100,000	補 日本学術振興会
新興感染症や災害によるパンデミックを見据えた血圧管理対策	蓬薙 琢郎	心臓血管内科	1,100,000	補 日本学術振興会
BPA治療による血行動態改善後のCTEPH患者における心肺運動負荷試験時ピーク心係数に及ぼすリオシグアトの効果～多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	窪田 佳代子	心臓血管内科	1,056,000	委 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
フレイル合併心不全における運動耐容能低下の機序解明と心臓リハビリテーションの効果	小島 聰子	心臓血管内科	1,700,000	補 日本学術振興会
ミトコンドリア代謝と栄養及びKlotho/FGF23連関の血管石灰化機序解明及び治療法開発	神田 大輔	心臓血管内科	400,000	補 日本学術振興会
心臓サルコイドーシスの診療実態に関する多施設前向き登録研究(MYSTICS-PRO)	大石 充	心臓血管内科	10,000	委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
(その他)肺疾患に伴う肺高血圧症に対する肺血管拡張薬の有用性の検討	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	委 肝属郡医師会立病院
人工知能解析に基づく、心房細動の予後予測可能な心エコー指標の開発と実装	堀添 善尚	心臓血管内科	400,000	補 日本学術振興会
肝障害合併成人心臓手術のアシアロ肝シンチグラフィーによる術前リスク評価法の確立	松本 和久	心臓血管外科	400,000	補 日本学術振興会
大動脈瘤ステントグラフト内挿術前後の凝固線溶動態の解析とエンドリーナーの機序解明	豊川 建二	心臓血管外科	1,000,000	補 日本学術振興会
VEGFアイソフォームに着目したずり応力による血管異型の機序解明	立岡 修治	心臓血管外科	1,200,000	補 日本学術振興会
消化管癌内視鏡治療後の合併症を予防するHGF含浸ゼラチン疎水化ミクロ粒子の開発	佐々木 文郷	消化器内科	500,000	補 日本学術振興会
腸肝連関におけるP2受容体経路を介した炎症制御機構の解明	上村 修司	消化器内科	2,000,000	補 日本学術振興会
肝疾患地域連携体制強化事業業務委託	馬渡 誠一	消化器内科	13,119,000	委 鹿児島県知事
ロボット支援肝切除術は真に低侵襲なのか?	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 小林市立病院
消化器癌のリンパ節転移診断精度向上に関する研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 国民健康保険高原病院
ロボット支援肝切除術の低侵襲性	大塚 隆生	消化器外科	1,200,000	委 垂水中央病院
高スループット薬剤スクリーニングで食道癌の個別化治療は実現可能か?	下之蘭 将貴	消化器外科	1,900,000	補 日本学術振興会
ロボット支援肝切除術は真に低侵襲なのか? acute phaseに着目して	山崎 洋一	消化器外科	1,200,000	補 日本学術振興会
なぜ膵臓全体が発癌危険地帯に?マイクロバイオータの関与と膵癌早期診断への挑戦	大塚 隆生	消化器外科	1,600,000	補 日本学術振興会
マイクロバイオームとゲノム解析から膵癌のリスク低減を実現できるか?	大塚 隆生	消化器外科	3,100,000	補 日本学術振興会
オステオサルコペニアが食道癌術前科学放射線療法の治療効果予測因子となり得るか	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 えびの市長
web遠隔教育で手術は上達するか?新規外科教育システム構築へ向けて	馬場 研二	消化器外科	1,100,000	補 日本学術振興会
マイクロ流体チップ技術によるリキッドバイオプシー診断は胃癌治療に革新をもたらすか	有上 貴明	消化器外科	800,000	補 日本学術振興会
4型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第Ⅲ相試験	有上 貴明	消化器外科	1,711	委 国立大学法人東京大学
HER2陽性進行・再発胃癌に対するトラスツズマブ「NK」とS-1+オキサリプラチニ併用療法もしくはカペシタビン+オキサリプラチニ併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験	有上 貴明	消化器外科	110,000	委 一般社団法人九州消化器癌化学療法研究会
エクソソーム由来マイクロRNAに着目した新規大腸癌免疫療法の未来像	和田 真澄	消化器外科	1,300,000	補 日本学術振興会
次世代シーケンサーを活用した原因不明脳炎の包括的ゲノム診断システムの構築	崎山 佑介	脳神経内科	1,200,000	補 日本学術振興会
(その他)HTLV-1関連脊髄症におけるHTLV-1特異的キラーT細胞の動態の研究	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	委 肝属郡医師会立病院
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	400,000	委 垂水中央病院
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	委 出水市病院事業(出水総合医療センター)
遺伝性ニューロパチーの分子疫学的研究-新規原因遺伝子探索とリピート異常伸張	安藤 匡宏	脳神経内科	1,000,000	補 日本学術振興会
全九州における黄斑下出血に対する組織プラスミノーゲン活性化因子(tPA)眼局所治療に関する研究開発	高嶋 博	脳神経内科	1,560,000	委 国立大学法人佐賀大学
鹿児島県てんかん地域診療連携体制整備事業に係る研修会等業務委託	花谷 亮典	脳神経外科	57,000	委 鹿児島県知事
膠芽腫におけるドライバー遺伝子変異の空間的プロテオミクスへの基盤構築	比嘉 那優大	脳神経外科	1,200,000	補 日本学術振興会
悪性神経膠腫におけるテモゾロミド耐性獲得においてオートファジーが果たす役割の解明	米澤 大	脳神経外科	1,000,000	補 日本学術振興会
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	内田 章文	呼吸器内科	33,000	委 国立大学法人長崎大学
(その他)小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	委 肝属郡医師会立病院
大隅地方における非抗酸菌感染症の実態に関する調査研究	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	委 垂水中央病院
非結核性抗酸菌症患者の地域特性に関する研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	委 出水市病院事業(出水総合医療センター)
自然リンパ球の多様性に注目した重症喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,600,000	補 日本学術振興会
顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)の新規伝達経路と呼吸器疾患の検討	三山 英夫	呼吸器内科	1,100,000	補 日本学術振興会
治療抵抗性獲得に関与する小細胞肺癌機能性RNA分子アトラスの構築	水野 圭子	呼吸器内科	1,000,000	補 日本学術振興会
新規分子DUSP5に着目した抗腫瘍免疫制御におけるMAPKシグナルの機能解析	田中 謙太郎	呼吸器内科	1,000,000	補 日本学術振興会
合成致死性に基づいたKRAS変異陽性肺癌におけるソトラシブ併用新規治療法の開発	萩原 陽子	呼吸器内科	2,000,000	補 日本学術振興会
肺癌細胞が血液脳関門を破錠し、脳転移を可能にする機能性RNAネットワークの解明	末次 隆行	呼吸器内科	1,900,000	補 日本学術振興会

オープンクロマチン領域を指標とした小細胞肺癌薬物耐性に関する分子機構の解明	眞田 宏樹	呼吸器内科	1,300,000	補	日本学術振興会	小計52件
肺癌悪性化進行過程を考慮したオートファジー細胞死の機構解明	上田 和弘	呼吸器外科	300,000	委	垂水中央病院	
肺癌悪性化進行過程を考慮したオートファジー細胞死の機構解明	永田 俊行	呼吸器外科	1,100,000	補	日本学術振興会	
メカノバイオロジーの視点からの代償性肺再構築の分子機構の解明と肺再生療法の開発	上田 和弘	呼吸器外科	1,400,000	補	日本学術振興会	
STING伝達経路の肺癌進行における役割—免疫療法中心に集学的治療の確立に向けて	青木 雅也	呼吸器外科	1,200,000	補	日本学術振興会	
胸膜リンパ流によるスキップ転移機序の解明:解剖・分子生物学から呼吸器外科へ	武田 亜矢	呼吸器外科	1,200,000	補	日本学術振興会	
終末期の病態解明と新規治療法開発—骨髄・脳・筋相関と運動からのアプローチ	浅川 明弘	心身医療科	1,000,000	補	日本学術振興会	
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	2,000,000	委	小林市立病院	
(その他)治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院	
多面的アプローチによる膀胱癌のプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	300,000	委	垂水中央病院	
未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究(JACUMET試験)	榎田 英樹	泌尿器科	77,000	委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター	
エクソソーム含有核酸の測定による尿路上皮癌の新規体液診断の開発	吉野 裕史	泌尿器科	1,000,000	補	日本学術振興会	
治療抵抗性腎癌に対するエクソソームを起点とした新規治療戦略の探索	坂口 大	泌尿器科	800,000	補	日本学術振興会	
膀胱癌治療における代謝リプログラミングの探求と新たな治療アプローチの提案	松下 良介	泌尿器科	1,300,000	補	日本学術振興会	
治療抵抗性腎癌におけるSCG2を介した代謝リプログラミングの解明と新規治療戦略の開発	大迫 洋一	泌尿器科	2,100,000	補	日本学術振興会	
エクソソーム解析による治療抵抗性腎癌の新規治療戦略と治療効果予測マーカーの開発	鑑野 秀一	泌尿器科	700,000	補	日本学術振興会	
エンフォルツマブペドチンによる皮膚障害の発症様式に関する多機関共同観察研究	鑑野 秀一	泌尿器科	100,000	委	国立大学法人京都大学	
未治療末梢性T細胞リンパ腫に対する初回導入化学療法後の完全奏効例に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法のランダム化第Ⅲ相試験(JCOG2210)	石塚 賢治	血液・膠原病内科	14,723,501	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する抗アポトーシス蛋白標的療法の開発のための研究	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)	
鹿児島県におけるATL患者レジストリーの構築と運営	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	委	垂水中央病院	
FLT3遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髓性白血病患者において、ギルテリチニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響』研究のためのヒストリカルデータ取得研究、FLT3遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髓性白血病患者における、ギルテリチニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響に関する観察研究	石塚 賢治	血液・膠原病内科	136,400	委	一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会	
実臨床におけるVenetoclax±Rituximabを24カ月間投与した日本人慢性リンパ性白血病患者のMRD陰性率に関する観察研究(Japan CLL-MRD study)	中村 大輔	血液・膠原病内科	55,000	委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	
(地公)枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	委	枕崎市立病院	
高齢糖尿病症例に対するイミグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	垂水中央病院	
(その他)チルゼバチドによる体重減少効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	肝属郡医師会立病院	
チルゼバチドによる体重減少効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)	
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	
トリプルネガティブ乳癌・転写調節領域解析に基づく抗癌剤耐性機構の解明	戸田 洋子	乳腺・甲状腺外科	500,000	補	日本学術振興会	
有棘赤血球舞踏病の神経変性の解明:フェロトーシスの関与と治療法の探求	浦田 結嘉	神経科精神科	1,200,000	補	日本学術振興会	
有棘赤血球舞踏病マウス精子と脳のミトコンドリアにおけるchoreinの機能解明	永田 青海	神経科精神科	600,000	補	日本学術振興会	
公認心理師養成学部課程において「連携」の力を育む実習プログラムの開発	上村 佳代	神経科精神科	400,000	補	日本学術振興会	
単一遺伝子疾患からの精神疾患の分子病態追求—有棘赤血球舞踏病の分子病態と精神疾患	中村 雅之	神経科精神科	900,000	補	日本学術振興会	
児童養護施設での養育が逆境的幼少期体験のある子どもの発達に与える影響	島田 尚子	神経科精神科	700,000	補	日本学術振興会	
(地公)枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	岡本 康裕	小児科	1,100,000	委	枕崎市立病院	
出水地区における小児疾患の予防策と保健業務の推進に関する研究	岡本 康裕	小児科	2,600,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)	
健常日本人小児(3~5歳)の骨密度の正常値に関する研究	関 祐子	小児科	450,000	補	公益財団法人 森永奉仕会	
デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした新たな患者レジストリを構築するための研究(Remudy-DMD)	丸山 慎介	小児科	22,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	
カルシウムイオン調節破綻回避によるシクロフォスファミド心筋障害予防	西川 拓朗	小児科	1,300,000	補	日本学術振興会	
Glenn手術後肺動静脈瘻に対するshear stressとmicroRNAを介した機序解明と治療応用	川村 順平	小児科	1,100,000	補	日本学術振興会	
核小体ストレス応答を利用して抗癌剤耐性を解除する新たな小児白血病治療の開発	中川 俊輔	小児科	700,000	補	日本学術振興会	
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	高橋 宜宏	小児科	5,000	委	国立大学法人東京科学大学	
網羅的シミュレータ開発による内視鏡外科手術オンラインコーチングシステム確立と実証	家入 里志	小児外科	1,400,000	補	日本学術振興会	
術中ホログラム支援による腫瘍血管内在型ナビによる小児固形腫瘍リセクタビリティ評価	川野 孝文	小児外科	900,000	補	日本学術振興会	
未曾有の少子化による症例数減少の打破と手術技能向上を両立する小児疾患シミュレータ	村上 雅一	小児外科	2,000,000	補	日本学術振興会	
未曾有の少子化時代における開放手術・内視鏡外科手術双方の外科医の技術評価が可能な新生児・乳児の胸腹部を網羅的に包含する小児外科疾患型手術シミュレータの開発と検証	村上 雅一	小児外科	1,500,000	補	公益財団法人 川野小児医学奨学財団	
腸内フローラは新生児壊死性腸炎における中枢発達改善の治療ターゲットか?	大西 峻	小児外科	700,000	補	日本学術振興会	
新生児外科疾患における中枢神経発達改善の治療のターゲットとしての腸内細菌叢の解明と新たな治療法の創出	大西 峻	小児外科	1,000,000	補	公益財団法人 川野小児医学奨学財団	
自己肝生存の切り札—病態解明のためのマタナルキメリズム誘導胆道閉鎖症マウスの開発	鶴野 雄大	小児外科	1,200,000	補	日本学術振興会	
短腸症とIFALDを同時に克服するアドレノメデュリン・ランデブー治療の可能性探索	矢野 圭輔	小児外科	800,000	補	日本学術振興会	
骨盤臓器脱に対するAllograftを用いたロボット支援仙骨腔固定術	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)	

婦人科癌手術の個別化医療に向けたセンチネルリンパ節微小転移リスクの解明と臨床応用	戸上 真一	産科、婦人科	1,200,000	補	日本学術振興会
病巣特異的抗がん剤産生バイオシステムを用いた難治性子宮頸がんへの挑戦	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補	日本学術振興会
(その他)更年期における変形性手指関節症に対する治療法の確立	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
HMGB1とHMGB2の骨リモデリングにおける機能解析~炎症加齢と骨粗鬆症~	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	800,000	補	日本学術振興会
新規サルコペニア関連マイオカインとオステオカインの検索	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	800,000	補	日本学術振興会
T細胞を抗原特異的に皮膚へ遊走させるメカニズムの解明	江川 形平	皮膚科	1,300,000	補	日本学術振興会
(その他)鹿児島県内(おもに肝属地区)の眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	委	垂水中央病院
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
多次元眼球形状解析による網脈絡膜疾患の病態解明~形態異常学的アプローチ~	寺崎 寛人	眼科	800,000	補	日本学術振興会
Explainable AIを用いた光干渉断層計による診断と病態解析	椎原 秀樹	眼科	1,000,000	補	日本学術振興会
頭頸部癌化学放射線療後の救済手術の有効性についての検討	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	委	垂水中央病院
経眼投与による粘膜免疫応答の誘導	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補	日本学術振興会
喉頭気管粘膜の傷害抑制および再生治療に関する研究	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000	補	日本学術振興会
Heterologous prime boost strategyを利用した粘膜免疫を誘導するワクチンの開発	大堀 純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補	日本学術振興会
多核種MRIによる膠芽腫の腫瘍微小環境評価法の開発	吉浦 敬	放射線科	1,600,000	補	日本学術振興会
FDG-PET代謝速度定数画像による免疫チェックポイント阻害剤効果判定法の確立	中條 正豊	放射線科	1,000,000	補	日本学術振興会
腫瘍内pH環境を画像化するpH-CESTの開発と頭頸部悪性腫瘍への応用	内匠 浩二	放射線科	1,700,000	補	日本学術振興会
画像流体力学解析による動脈塞栓術後側副血行路発達の予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,000,000	補	日本学術振興会
敗血症脳症に伴う特異的脳神経活動の機能的意義	中原 真由美	麻酔科	1,400,000	補	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動が加齢モデルの全身麻酔後の睡眠覚醒リズムに与える影響	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,600,000	補	日本学術振興会
安心安全な歯科治療環境の提供 リナロール香気吸入による抗不安作用・鎮痛作用の検証	比嘉 憂理奈	歯科麻酔科	1,000,000	補	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討:介入前後比較試験	下堂薦 恵	リハビリテーション科	300,000	委	垂水中央病院
経頭蓋磁気刺激、末梢刺激、ロボットによる重度上肢麻痺の治療法と回復指標の開発	衛藤 誠二	リハビリテーション科	700,000	補	日本学術振興会
光操作法によるニューロリハビリテーションの治療効果と脳・神経可塑性の研究	下堂薦 恵	リハビリテーション科	2,300,000	補	日本学術振興会
酸化ストレスと炎症の制御を応用した口腔粘膜炎の発症予防と治療を目指した新戦略	玉木 直文	口腔保健科	1,500,000	補	日本学術振興会
口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	山口 泰平	口腔保健科	600,000	補	日本学術振興会
心血管疾患における神経伝達物質サブスタンスPの口腔バイオフィルム制御機構の解明	長田 恵美	口腔保健科	1,100,000	補	日本学術振興会
有事の医療現場にて日和見感染症抑止に絶大な効果を発揮するフローチャートの開発	藤島 慶	口腔保健科	1,200,000	補	日本学術振興会
マルチレベル分析による新たな周術期口腔機能管理を目指した口腔機能と起立動作の解明	廣島屋 貴俊	口腔保健科	300,000	補	日本学術振興会
非侵襲的な耳介迷走神経刺激は唾液分泌の促進とGERDとプラキシズムの抑制に有効か	宮脇 正一	矯正歯科	900,000	補	日本学術振興会
胃食道逆流はなぜ咬筋活動を増加させるのか:ストレス物質に着目したメカニズムの解明	前田 綾	矯正歯科	1,900,000	補	日本学術振興会
血糖値のコントロールが自律神経活動と睡眠時プラキシズムに与える影響の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	1,100,000	補	日本学術振興会
プロバイオティクスが覚醒時プラキシズムと頸関節症に及ぼす影響の解明	大迫 佑季	矯正歯科	100,000	補	日本学術振興会
非侵襲的自律神経刺激法によるうつ症状改善方法の探索とその機序の解明	楠元 淳也	矯正歯科	1,100,000	補	日本学術振興会
アロマ芳香浴がストレス反応を介して睡眠時プラキシズムに与える影響の解明	日野 沙耶佳	矯正歯科	1,000,000	補	日本学術振興会
ビタミンDによるセロトニンや腸内細菌叢を介した覚醒時プラキシズムの治療効果の検討	福嶋 美佳	矯正歯科	600,000	補	日本学術振興会
消化管促進作用を有するグレリンの動態が睡眠時プラキシズムに及ぼす影響の解明	高橋 広太郎	矯正歯科	500,000	補	日本学術振興会
ヒト乳歯幹細胞の分化多能性におけるアルカリホスファターゼの機能解明	稻田 絵美	小児歯科	1,200,000	補	日本学術振興会
スマートフォンカメラと機械学習アルゴリズムを活用した咀嚼機能発達段階の解明	佐藤 秀夫	小児歯科	2,600,000	補	日本学術振興会
寿命・老化制御機構と神経系障害を腸内細菌叢から探る	山座 治義	小児歯科	900,000	補	日本学術振興会
新規口唇閉鎖訓練装置を用いた小児における口唇閉鎖訓練の効果に関する研究	山本 祐士	小児歯科	1,700,000	補	日本学術振興会
バイタルセンシングカメラを用いた小児における摂食機能の新規定量評価法に関する研究	鎮守 耕平	小児歯科	1,000,000	補	日本学術振興会
抗菌分子とランタノイドの錯体形成を利用した新規抗菌性ジルコニアフィラーの開発	糸田川 美鴻	保存科	1,600,000	補	日本学術振興会
覆雑処置に対する白金ナノコロイドの新たなる応用方法の検討	勝俣 愛一郎	保存科	800,000	補	日本学術振興会
口腔内で使用可能なテラヘルツ波を応用したう蝕診断装置の開発	西谷 佳浩	保存科	1,200,000	補	日本学術振興会
2024年度「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)さくら招へいプログラム」実施業務	西谷 佳浩	保存科	661,650	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
アクアポリンを制御するミトコンドリア移植法による新しい歯髄保存・再生療法の開発	高 裕子	保存科	600,000	補	日本学術振興会
歯周病がアルツハイマー病の進行に影響を及ぼすメカニズムの病理組織学的解析	園田 恵美	歯周病科	1,000,000	補	日本学術振興会
歯周病が神経変性疾患である認知症の進行に及ぼす影響の解明	園田 恵美	歯周病科	1,400,000	補	日本学術振興会
BMP9とMTAを用いたバイオアクティブラボアプローチによる外科的歯内療法の基盤構築	川上 克子	歯周病科	700,000	補	日本学術振興会
骨形成因子BMP-9の作用発現最適化による効率的な顎骨・歯周組織再生治療の基盤確立	中村 利明	歯周病科	1,200,000	補	日本学術振興会
歯周病と妊娠高血圧症の関連とそのメカニズムの解明に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	1,400,000	補	日本学術振興会
歯の整列と歯周組織再生の同時確立に挑むメカノバイオリジネーション法の基盤確立	白方 良典	歯周病科	1,300,000	補	日本学術振興会
LIPUSとBMP9を用いた糖尿病患者に対する歯周組織再生療法開発の基盤的研究	野口 和行	歯周病科	600,000	補	日本学術振興会
分子発現の異なる歯周組織由来間葉系幹細胞の生体内での骨形成機能解明	宮田 春香	義歯インプラント科	1,000,000	補	日本学術振興会
顎骨MSCの骨形成能判定のための培養上清中のタンパク質分析とメカニズム解明	駒走 尚大	義歯インプラント科	1,700,000	補	日本学術振興会
口腔機能評価と健康指標のデータビジュアライズと口腔機能管理アウトカムの検討	西 恒宏	義歯インプラント科	1,300,000	補	日本学術振興会

小計51件

頸骨骨髓由来間葉系幹細胞の抗酸化能と骨分化、骨形成能との関連性解明	池田 菜緒	義歯インプラント科	1,600,000	補	日本学術振興会
頸骨再生に向けた移植体の骨形成能を担保するための基礎的研究	末廣 史雄	義歯インプラント科	1,000,000	補	日本学術振興会
移植後に確実に骨を形成する新規骨再生剤の開発	末廣 史雄	義歯インプラント科	1,420,000	委	国立大学法人京都大学
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	奥井 達雄	口腔外科	1,000,000	委	薩摩川内市
口腔癌骨破壊病変における知覚神経と癌細胞の相互作用メカニズムの解明	奥井 達雄	口腔外科	400,000	補	日本学術振興会
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	奥井 達雄	口腔外科	1,000,000	委	長島町
口腔癌における新規バイオマーカー検索と特異遺伝子に対する新規核酸抗がん薬の開発	久米 健一	口腔外科	300,000	補	日本学術振興会
口腔細菌叢のオミクス解析による口腔癌発症機序の解明とリスク診断の構築	後藤 雄一	口腔外科	200,000	補	日本学術振興会
口腔・大腸マイクロバイオームが導く大腸がん予測システムと予防法の開発	内野 祥徳	口腔外科	600,000	補	日本学術振興会
ナノポアシーケンスを用いた口腔細菌叢解析によるARONJリスク診断の構築	比地岡 浩志	口腔外科	500,000	補	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌早期診断マーカーとしてのmiRNAのナノポア計測の有用性	別府 真広	口腔外科	800,000	補	日本学術振興会
新規生体組織再生材料と骨関連シグナルを組み合わせた頸骨欠損の新たな治療戦略の構築	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	900,000	補	日本学術振興会
運動によるmyokineを介した口腔癌微小環境・免疫機能改善と癌細胞への直接作用	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	500,000	補	日本学術振興会
構音動態の客観的評価に基づく口蓋裂術後の異常構音獲得メカニズムの解明	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	700,000	補	日本学術振興会
唇顎口蓋裂患者の包括的治療効果予測と世代間を結ぶ治療体制構築の実現に向けて	石畠 清秀	口腔顎顔面外科	2,300,000	補	日本学術振興会
新規バクテリオシンを応用した口腔顎顔面領域創部における感染制御に関する研究	中園 賢太	口腔顎顔面外科	900,000	補	日本学術振興会
種子島スタディー口腔から地域高齢者の健康寿命延伸を目指す官学連携総合的機能評価一	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	1,000,000	補	日本学術振興会
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成(24FC1016)	橋口 照人	検査部	18,000,000	補	厚生労働省
circRNA-miRNAによる大動脈弁狭窄症病態解明とバイオマークー創出の挑戦	山口 宗一	検査部	4,500,000	補	日本学術振興会
腫瘍血管成熟に着目した膀胱癌の新たな個別化免疫治療の確立	田上 聖徳	検査部	800,000	補	日本学術振興会
Caチャネル α 2δリガンドのHO-1/グリア細胞を介した鎮痛機序の解明	五代 幸平	手術部	400,000	補	日本学術振興会
間質性肺炎合併肺癌における線維芽細胞の可逆的形質変化に着目した網羅的解析	上村 豪	手術部	1,100,000	補	日本学術振興会
乳癌のfield cancerization～クローン拡大から発症前リスク診断を目指して	新田 吉陽	手術部	1,200,000	補	日本学術振興会
令和6年度HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備(実地研修事業)	古川 良尚	輸血・細胞治療部	120,000	委	公益財団法人 エイズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	675,000	委	公益財団法人 エイズ予防
HIV診療医師情報網支援事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	179,000	委	国立病院機構九州医療センター
L-アスパラギナーゼの核小体ストレス応答を介した新たな抗がん作用の解明	中村 達郎	輸血・細胞治療部	700,000	補	日本学術振興会
宿主自然免疫応答制御を軸とした川崎病の新規治療戦略	上野 健太郎	周産母子センター	100,000	補	日本学術振興会
不妊専門相談支援推進研究	内田 那津子	周産母子センター	631,015	委	鹿児島県知事
超音波ガイド下針生検を用いた統合的ゲノム診断による進行卵巣・卵管がん治療への挑戦	築詰 伸太郎	周産母子センター	1,200,000	補	日本学術振興会
慢性疼痛が惹起する不安障害への視床下部室傍核PACAP-モノアミンシグナルの関与の解明	橋口 浩平	全身管理歯科治療部	1,300,000	補	日本学術振興会
膀胱治療抵抗性への挑戦:機能性RNAの「時間的」階層性によるマスター分子の探求	伊地知 徹也	光学医療診療部	1,500,000	補	日本学術振興会
運動によるヘパトカインを介する肝臓と脳の臓器連関の研究	吉田 輝	リハビリテーション部	1,100,000	補	日本学術振興会
経口糖尿病治療薬であるSGLT-2阻害薬がカンジダ・アルビカンスに及ぼす影響	作田 哲也	歯科総合診療部	1,200,000	補	日本学術振興会
歯学生のプロフェッショナルアイデンティティ形成の実態と影響因子の解明	大戸 敬之	歯科総合診療部	1,000,000	補	日本学術振興会
頸骨間葉系幹細胞を用いた骨再生治療におけるSASP影響に関する基礎的研究	堀之内 玲耶	歯科総合診療部	1,000,000	補	日本学術振興会
令和6年度肝炎情報センター戦略的強化事業	馬渡 誠一	肝疾患相談センター	4,279,200	委	国立研究開発法人国際医療研究センター
浸潤・転移の難治性癌を制圧する革新的な免疫遺伝子搭載・腫瘍溶解性ウイルスの実用化への非臨床・臨床開発	小賊 健一郎	探索的医療開発センター	111,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖尿病(1型含む)を安全・簡便(一回静脈注射)に制圧する革新的な遺伝子治療の開発	小賊 健一郎	探索的医療開発センター	1,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
浸潤・転移の骨軟部肉腫を治療可能な革新的な腫瘍溶解性ウイルス・免疫治療法の創出	小賊 健一郎	探索的医療開発センター	4,500,000	補	日本学術振興会
免疫チェックポイントBispecific抗体遺伝子発現・腫瘍溶解性ウイルスの創出	小賊 健一郎	探索的医療開発センター	6,500,000	補	日本学術振興会
Arc依存的な永続的記憶および記憶に基づく行動選択の神経機構の解明	奥野 浩行	医療情報部	4,800,000	補	日本学術振興会
これまで見逃されてきたシナプス刺激後の“超”初期に終結する遺伝子発現変動	奥野 浩行	医療情報部	2,000,000	補	日本学術振興会
逆転学習後の正しい解法への“気づき”に関わる脳内動態と神経機構	奥野 浩行	医療情報部	2,700,000	補	日本学術振興会
他施設との看護ケア比較および情報連携のための、看護実践情報の名寄せ技術の開発	岩穴口 孝	医療情報部	900,000	補	日本学術振興会
小児が保菌する大腸菌は成人菌血症の原因になるか？—薬剤耐性と病原性の包括的解析—	西 順一郎	感染制御部	1,200,000	補	日本学術振興会
新興・再興感染症データバンク(REBIND)	川村 英樹	感染制御部	300,000	委	国立研究開発法人国際医療研究センター
地域医療支援センター設置事業業務委託	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	33,353,001	委	鹿児島県知事

小計59件

小計45件

新規細胞選別技術による腫瘍内dormant cellsの選別と機能解析	寺園 英之	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
神経線維症1型脊椎病変における椎体dystrophic changeの病態解明	河村 一郎	整形・リウマチ外科	1,400,000	補	日本学術振興会
機械学習によるグリオーマの診断・予後バイオマーカーの創出と個別化医療への基盤構築	花谷 亮典	脳神経外科	1,100,000	補	日本学術振興会
敗血症性臓器障害におけるBH2/BH4の脱共役メカニズムと新たな治療戦略を探る	垣花 泰之	救命救急センター	1,300,000	補	日本学術振興会
肝細胞癌における腫瘍関連マクロファージに発現するGPNMBの役割	熊谷 公太郎	消化器内科	600,000	補	日本学術振興会
Ca/DAG-GEF1の網膜色素変性症における機能解析と新規機能の探索	古城 剛	医療技術部	1,000,000	補	日本学術振興会
時空間的多様性を捕捉する微小環境選択的な口腔癌診断・治療システムの開発	笹平 智則	病理部	5,900,000	補	日本学術振興会
止血異常を引き起こしたMLCK分子異常の原因解明に向けた網羅的機能解析	小濱 祐行	医療技術部	700,000	補	日本学術振興会
テトラヒドロビオプテリン・サプライにより新生児壊死性腸炎の中核機能予後を取戻す	杉田 光士郎	救命救急センター	900,000	補	日本学術振興会
活性化凝固第X因子阻害薬内服患者のトロンビン阻害薬濃度偽陽性となるメカニズム解明	中村 政敏	医療技術部	600,000	補	日本学術振興会
間質性肺炎中央診断判定・助言業務	田畠 和宏	病理部	32,000	委	国立大学法人東海国立大学機構
成人ミトコンドリア病の診断法の確立と新規原因遺伝子の同定	平松 有	臨研管理センター	2,100,000	補	日本学術振興会
脳卒中急性期の上肢麻痺に対する電気・振動刺激を備えた新しいロボット訓練の効果検証	豊栄 峻	医療技術部	300,000	補	日本学術振興会
免疫細胞のゲノムプロファイルを用いた肺癌免疫治療耐性克服への挑戦	又木 雄弘	病院再開発推進室	1,400,000	補	日本学術振興会
ノンコーディングRNAを転写するMALAT1遺伝子のコーディングしない新規機能の解析	野口 紘嗣	病理部	1,300,000	補	日本学術振興会
『衛星コンステレーション』を用いた新しい災害医療通信基盤の確立と活用指針の作成	野口 航	救命救急センター	2,700,000	補	日本学術振興会
					小計16件
					合計223件

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Fukunishi Y, Yanazume S, Nagata C, et al	産科、婦人科	Potential Risks of Severe Infection Following the Exploratory Laparoscopy for Advanced Ovarian Cancer: A Case Report and a Literature Review.	Cureus. 2024 Jul 26;16(7):e65415. (オンライン)	Case Report
2	Kitazono I, Murakami M, Takeda A, et al	病理診断科	Pulmonary pleomorphic carcinoma: A rare case showing arterial carcinomatosis mimicking pulmonary artery intimal sarcoma.	Pathol Int. 2025 Feb;75(2):114-120.	Case Report
3	Kitazono I, Akahane T, Sasaki H, et al	病理診断科	Malignant phyllodes tumor with EGFR variant III mutation: A rare case report with immunohistochemical and genomic studies.	Pathol Res Pract. 2024 Jul;259:155389.	Case Report
4	Takahashi K, Maeda-Iino A, Oga Y, et al	矯正歯科	Changes Over Time in Masseter Muscle Activity, Symptoms of Discomfort, Stress Level and Salivary Flow Rate Following Intra-Oesophageal Acid Infusion.	J Oral Rehabil. 2025 Mar;52(3):332-342.	Original Article
5	Matsumoto K, Hamatani S, Shiga K, et al	臨床心理室	Effectiveness of Unguided Internet-Based Cognitive Behavioral Therapy for Subthreshold Social Anxiety Disorder in Adolescents and Young Adults: Multicenter Randomized Controlled Trial.	JMIR Pediatr Parent. 2024 Jul 22;7:e55786. (オンライン)	Original Article
6	Matsumoto K, Hamatani S, Singh T	臨床心理室	Editorial: Psychological intervention for suicidal ideation, behavior, and attempted suicide.	Front Psychiatry. 2024 Oct 14;15:1497473. (オンライン)	Original Article
7	Matsumoto K, Hamatani S, Kunisato Y, et al	臨床心理室	Components of cognitive-behavioural therapy for mitigating core symptoms in attention-deficit hyperactivity disorder: a systematic review and network meta-analys.	BMJ Ment Health. 2024 Dec 27;27(1):e301303. (オンライン)	Original Article
8	Suzuki S, Akahane T, Tanimoto A, et al	腫瘍センター	Comparison of actionable alterations in cancers with kinase fusion, mutation, and copy number alteration.	PLoS One. 2025 Jan 23;20(1):e0305025. (オンライン)	Original Article
9	Sagata Y, Kamikokuryo C, Madokoro Y, et al	ME機器センター	Analysis of Changes over Time in Blood Amino Acids During Online Haemodiafiltration Dialysis in Acute Liver Failure Patients with Hepatic Encephalopathy.	Adv Exp Med Biol. 2024 Oct 15;1463:129-134.	Original Article
10	Tsuchihashi H, Yamaguchi T, Yamada Y, et al	看護部	Factors associated with work engagement of nurses in the radiology department, Japan: a cross-sectional study.	PeerJ. 2024 Nov 18;12:e18426. (オンライン)	Original Article
11	Kanda D, Tokushige A, Kajiya T, et al	心臓血管内科	Characteristics of Patients With Acute Coronary Syndrome and Lipid Management Status Insights From the Optimal Therapy for All Kagoshima Acute Coronary Syndrome (OK-ACS) Registry.	Circ J. 2025 Mar 29.	Original Article

小計11件

12	Akasaki Y, Suematsu Y, Azushima K, et al	心臓血管内科	Impact of patient care teams on blood pressure control in patients with hypertension: a systematic review and meta-analysis.	Hypertens Res. 2025 Feb 17.	Original Article
13	Kanda D, Tokushige A, Ohmure K, et al	心臓血管内科	Impact of serum cholinesterase on calcified nodules in patients with stable coronary artery disease.	Coron Artery Dis. 2025 Jan 1;36(1):70-77.	Original Article
14	Kanda D, Tokushige A, Ohishi M	心臓血管内科	Association between Estimated Small Dense Low-Density Lipoprotein Cholesterol and Occurrence of New Lesions after Percutaneous Coronary Intervention in Japanese Patients with Stable Angina and Receiving Statin Therapy.	Rev Cardiovasc Med. 2024 Jun 17;25(6):218. (オンライン)	Original Article
15	Shimono H, Tokushige A, Kanda D, et al	心臓血管内科	Clinical impact of Academic Research Consortium for High Bleeding-Risk scores on clinical outcomes in patients with stable coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention.	Heart Vessels. 2024 Dec;39(12):995-1008.	Original Article
16	Ohmure K, Kanda D, Ikeda Y, et al	心臓血管内科	Impact of co-presence of malnutrition-inflammation-atherosclerosis factors on prognosis in lower extremity artery disease patients after endovascular therapy.	Cardiovasc Interv Ther. 2025 Jan;40(1):102-111.	Original Article
17	Akasaki Y	心臓血管内科	Once-daily Extended-Release Pemafibrate Enhances Adherence and Triglyceride Control Over Twice-Daily Dosing.	J Atheroscler Thromb. 2024 Nov 1;31(11):1512-1514.	Original Article
18	Kamada H, Yoshimoto I, Enokizono K, et al	心臓血管内科	Subcutaneous Implantable Cardioverter-Defibrillator Implantation in a Hereditary Dystonia Patient With Bilateral Deep Brain Stimulation.	JACC Case Rep. 2025 Mar 5;30(5):103108.	Case Report
19	Toyodome A, Mawatari S, Eguchi H, et al	消化器内科	Analysis of the susceptibility of refractory hepatitis C virus resistant to nonstructural 5A inhibitors.	Sci Rep. 2024 Jul 16;14(1):16363. (オンライン)	Original Article
20	Baba K, Wada M, Kuroshima N, et al	消化器外科	Robot-Assisted Ultra-Low Anterior Resection for Rectal Neuroendocrine Tumors after Severe Perineal Tears: A Case Report.	Surg Case Rep. 2025 Feb 1;11(1):24-0012. (オンライン)	Case Report
21	Matsumoto R, Enzhi Y, Takeda K, et al	消化器外科	CD8(+) T cell-mediated rejection of allogenic human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocyte sheets in human PBMC-transferred NOG MHC double knockout mice.	J Heart Lung Transplant. 2024 Aug;43(8):1348-1357.	Original Article
22	Arigami T, Matsushita D, Shimonosono M, et al	消化器外科	Clinical Significance of Body Weight Loss During Chemotherapy for Advanced Gastric Cancer Undergoing Conversion Surgery.	Anticancer Res. 2024 Sep;44(9):4031-4037.	Original Article
23	Baba K, Hozaka Y, Tanabe K, et al	消化器外科	Simultaneous Remote Laparoscopic Training for Trainees Among Multiple Institutions: Can Remote Coaching Replace On-Site Coaching?	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e70007.	Original Article

24	Ohtsuka T, Maguchi H, Tokunaga S, et al	消化器外科	Prospective multicenter surveillance study of branch-duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas; risk of dual carcinogenesis.	Pancreatology. 2024 Nov;24(7):1141–1151.	Original Article
25	Hidaka Y, Tanoue S, Ayukawa T, et al	消化器外科	Impact of pancreatic ductal occlusion on postoperative outcomes in pancreatic head cancer patients undergoing neoadjuvant therapy.	J Gastroenterol. 2024 Sep;59(9):858–868.	Original Article
26	Hirase Y, Sasaki K, Tsuruda Y, et al	消化器外科	Prognostic impact of preoperative osteosarcopenia on esophageal cancer surgery outcomes: a retrospective analysis.	Esophagus. 2025 Jan;22(1):77–84.	Original Article
27	Hirase Y, Arigami T, Matsushita D, et al	消化器外科	Prognostic significance of osteosarcopenia in patients with stage IV gastric cancer undergoing conversion surgery.	Langenbecks Arch Surg. 2024 Dec 14;410(1):7. (オンライン)	Original Article
28	Ohtsuka T, Fernandez-Del Castillo C	消化器外科	Reply to Letter to Editor by Moyer MT et al regarding 'EUS guided cyst chemoablation'.	Pancreatology. 2024 Nov;24(7):1201–1202.	Letter
29	Arigami T, Matsushita D, Shimonosono M, et al	消化器外科	Prognostic impact of clinical trial eligibility in patients with advanced gastric cancer.	Sci Rep. 2025 Mar 31;15(1):10961. (オンライン)	Original Article
30	Hirase Y, Sasaki K, Tsuruda Y, et al	消化器外科	Osteosarcopenia as a Predictor of Histopathologic Response to Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Esophageal Cancer: a Retrospective Cohort Study.	Langenbecks Arch Surg. 2025 Mar 25;410(1):105. (オンライン)	Original Article
31	Nozuma S, Matsuzaki T, Tanaka M, et al	脳神経内科	T-Cell Receptor/CD3 Downregulation and Impaired Signaling in HTLV-1-Infected CD4+ T Cells of HAM Patients.	Int J Mol Sci. 2025 Feb 17;26(4):1706. (オンライン)	Original Article
32	Ando M, Higuchi Y, Yuan JH, et al	脳神経内科	SOD1-related inherited peripheral neuropathies in a Japanese cohort: genetic variants and clinical insights.	J Neurol. 2025 Feb 11;272(3):191. (オンライン)	Original Article
33	Hobara T, Higuchi Y, Yoshida M, et al	脳神経内科	Genetic and pathophysiological insights from autopsied patient with primary familial brain calcification: novel MYORG variants and astrocytic implications.	Acta Neuropathol Commun. 2024 Aug 23;12(1):136. (オンライン)	Original Article
34	Hobara T, Ando M, Higuchi Y, et al	脳神経内科	Linking LRP12 CGG repeat expansion to inherited peripheral neuropathy.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2025 Jan 16;96(2):140–	Original Article
35	Yamahata H, Ijiri K, Tanabe F, et al	脳神経外科	Cerebrospinal fluid protein concentration in patients with lumbar spinal stenosis.	Surg Neurol Int. 2024 Aug 23;15:303. (オンライン)	Original Article
36	Nagano Y, Yamahata H, Makino R, et al	脳神経外科	CT correlation of spinal canal diameter with pedicle size for safer posterior cervical pedicle screw fixation.	Surg Neurol Int. 2024 Aug 30;15:307. (オンライン)	Original Article
37	Makino R, Machida A, Nagano Y, et al	脳神経外科	Systemic Embolism Following Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke: A Case of Suspected Catastrophic Antiphospholipid Syndrome.	J Neuroendovasc Ther. 2024 July 20;18(7):197–202.	Case Report
38	Nagano Y, Ikeda T, Shimonaga K, et al	脳神経外科	Preoperative Simulation of Intraoperative Findings in Surgical Clipping of Posterior Communicating Artery Aneurysms Using T2-Weighted 3D Images.	Cureus. 2024 Aug 14;16(8):e66851. (オンライン)	Original Article

39	Higa N, Akahane T, Kirishima M, et al	脳神経外科	All-in-one bimodal DNA and RNA next-generation sequencing panel for integrative diagnosis of glioma.	Pathol Res Pract. 2024 Nov;263:155598.	Original Article
40	Morikawa M, Tokimura H, Hosoyama H, et al	脳神経外科	Trigeminal Neuralgia Associated with a Variant of Primitive Trigeminal Artery: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2024 Oct 24;11:285-290. (オンライン)	Case Report
41	Mitsuyama H, Iizasa E, Kukita A, et al	呼吸器内科	Deletion of Card9 eliminates the detrimental facets of mycobacterial adjuvants.	Heliyon. 2024 Sep 19;10(19):e38139. (オンライン)	Original Article
42	Tomioka Y, Seki N, Suetsugu T, et al	呼吸器内科	Identification of Tumor Suppressive miR-144-5p Targets: FAM111B Expression Accelerates the Malignant Phenotypes of Lung Adenocarcinoma.	Int J Mol Sci. 2024 Sep 16;25(18):9974. (オンライン)	Original Article
43	Aoki M, Kamimura G, Harada-Takeda A, et al	呼吸器外科	Topohistology of dendritic cells and macrophages in the distal and proximal nodes along the lymph flow from the lung.	J Anat. 2025 Mar 28.	Original Article
44	Nagata T, Aoki M, Maeda K, et al	呼吸器外科	En Bloc Resection of a Primary Tumor and Lymph Nodes in Non-Small-Cell Lung Cancer.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Sep 3;30(1):24-00108.	Original Article
45	Maeda K, Immura N, Tabata K, et al	呼吸器外科	SF(6) is a useful expander for post-pneumonectomy syndrome in the long-term course: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Jul 17;10(1):172. (オンライン)	Original Article
46	Kamimura G, Aoki M, Iwamoto M, et al	呼吸器外科	Prognostic significance of preoperative to postoperative serum carcinoembryonic antigen ratio after lobectomy for lung adenocarcinoma.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Jan;73(1):39-44.	Original Article
47	Aoki M, Miyata R, Kamimura G, et al	呼吸器外科	Successful long-term outcome of neoadjuvant sequential targeted therapy and chemotherapy for stage III non-small cell lung carcinoma: 10 case series.	Transl Lung Cancer Res. 2024 Dec 31;13(12):3278-3288.	Original Article
48	Kamimura G, Aoki M, Umehara T, et al	呼吸器外科	Prognostic Outcome of Pulmonary Resection for Pulmonary Metastases from Gastric Cancer.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Jun 28;30(1):24-00044.	Original Article
49	Uehara S, Sasaki F, Sahara H, et al	消化器内科	Establishment of a swine model of delayed bleeding after endoscopic procedure.	DEN Open. 2024 Jul 23;5(1):e411. (オンライン)	Original Article
50	Ishitsuka K, Yasukawa T, Tsuji Y	血液・膠原病内科	Safety and effectiveness of mogamulizumab in relapsed or refractory CC chemokine receptor 4-positive peripheral T-cell lymphoma and relapsed or refractory cutaneous T-cell lymphoma: A post-marketing surveillance in Japan.	Hematol Oncol. 2024 Jul;42(4):e3292.	Original Article
51	Yoshimitsu M	血液・膠原病内科	Targeted antibody therapy as a treatment strategy for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma.	Leuk Res. 2025 Feb;149:107653.	Original Article
52	Yoshimitsu M, Tanaka T, Nakano N, et al	血液・膠原病内科	Comparative outcomes of various transplantation platforms, highlighting haploidentical transplants with post-transplantation cyclophosphamide for adult T-cell leukaemia/lymphoma.	Br J Haematol. 2025 Jan;206(1):235-249.	Original Article

53	Kawamura J, Yamakuchi M, Ueno K, et al	小児科	MiR-25-3p regulates pulmonary arteriovenous malformation after Glenn procedure in patients with univentricular heart via the PHLPP2-HIF-1I± axis.	Sci Rep. 2025 Feb 3;15(1):4138. (オンライン)	Original Article
54	Nishikawa T, Miyahara E, Yamazaki I, et al	小児科	Effects of High-Dose Cyclophosphamide on Ultrastructural Changes and Gene Expression Profiles in the Cardiomyocytes of C57BL/6J Mice.	Diseases. 2024 Apr 27;12(5):85. (オンライン)	Original Article
55	Takada L, Kawano T, Yano K, et al	小児科	Ovarian endometrioma: a report of a pediatric case diagnosed prior to menstruation.	Surg Case Rep. 2024 Jun 20;10(1):152. (オンライン)	Original Article
56	Kawamura J, Yasukochi S, Takigiku K, et al	小児科	Quantification of Pulmonary Regurgitation After Surgical Repair of Tetralogy of Fallot Using Vector Flow Mapping.	Circ J. 2025 Feb 22.	Original Article
57	Abematsu T, Nishikawa T, Kasabata H, et al	小児科	Blinatumomab Maintenance Therapy Following Bone Marrow Transplantation for Early Relapsed Pediatric B-cell Precursor Acute Lymphoblastic Leukemia and Analysis of Lymphocyte Subset Changes.	Cureus. 2024 Jun 12;16(6):e62263. (オンライン)	Case Report
58	Onishi S, Ieiri S	小児外科	Conditions that mimic Hirschsprung's disease, but that are not Hirschsprung's disease.	World J Pediatr Surg. 2025 Mar 12;8(1):e000918. (オンライン)	Original Article
59	Iwamoto Y, Onishi S, Sugita K, et al	小児外科	An ultrasound-guided supraclavicular approach for tunneled central venous catheter insertion can be safely performed by junior residents.	Pediatr Surg Int. 2024 Jul 23;40(1):207. (オンライン)	Original Article
60	Onishi S, Murakami M, Ishimaru T, et al	小児外科	Current Practice of Laparoscopic Surgery for Choledochal Cyst in Children -A Survey on Opinion and Experience Among IPEG Members.	J Pediatr Surg. 2024 Dec;59(12):161683.	Original Article
61	Sugita K, Harumatsu T, Nagano A, et al	小児外科	The postoperative renal function of persistent cloaca patients treated by posterior sagittal anorecto-urethro-vaginoplasty: results of a nationwide survey in Japan.	Pediatr Surg Int. 2024 Jul 6;40(1):177. (オンライン)	Original Article
62	Tsuruno Y, Nagano A, Sugita K, et al	小児外科	Favorable inhibitory effect of clodronate on hepatic steatosis in short bowel syndrome model rats.	Pediatr Surg Int. 2024 Nov 13;40(1):307. (オンライン)	Original Article
63	Tsuruno Y, Fukuzawa H, Okamoto M, et al	小児外科	Evaluation of Liver Fibrosis Using Shear Wave Elastography after Surgery for Congenital Biliary Dilatation.	Kobe J Med Sci. 2024 Nov 21;70(3):E100-E105. (オンライン)	Original Article
64	Sugita K, Yano K, Onishi S, et al	小児外科	Impact of hepatocyte growth factor on the colonic morphology and gut microbiome in short bowel syndrome rat model.	Pediatr Surg Int. 2024 Jul 13;40(1):185. (オンライン)	Original Article
65	Kedoin C, Sugita K, Harumatsu T, et al	小児外科	Marginal Indication for Thoracoscopic Surgery for Neonatal Bochdalek Hernia: "Anchor-Shaped Closure" Technique for the Patient's Own Residual Diaphragm Using a Loop Needle Device.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e70032.	Case Report

小計13件

66	Tsuruno Y, Harumatsu T, Tabata Y, et al	小児外科	Specific Findings of Blood Perfusion on Anastomosed Esophagus of Neonatal Esophageal Atresia and Tracheoesophageal Fistula Using Indocyanine Green Fluorescence During Thoracoscopic Surgery.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e13422.	Case Report
67	Kawano T, Sugita K, Masuya R, et al	小児外科	A Retrospective Review of 28 Cases of Pediatric Malignant Renal Tumors at a Single Institution.	Diseases. 2025 Jan 31;13(2):40. (オンライン)	Original Article
68	Nishida N, Kawano T, Sugita K, et al	小児外科	Comparison of Transumbilical Laparoscopy-Assisted Appendectomy with Conventional Three-Port Laparoscopic Appendectomy Performed by Pediatric Surgeons in Training for Appendicitis in Children.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2024 Apr;34(4):380-385.	Original Article
69	Murakami M, Kurashima Y, Ogawa K, et al	小児外科	How many cases do young pediatric surgeons need to experience to achieve autonomy in performing pediatric endoscopic surgery? A nationwide survey to establish an ideal curriculum for pediatric endoscopic surgery in Japan.	Pediatr Surg Int. 2024 Dec 31;41(1):54. (オンライン)	Original Article
70	Yano K, Nishida N, Kedoin C, et al	小児外科	Two-Site Thoracoscopic Surgery for Extra-Pulmonary Sequestration Using an Extraction Wound: Five Pediatric Cases With Favorable Cosmetic Outcomes.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e70005.	Case Report
71	Tsuruno Y, Sugita K, Muraji T, et al	小児外科	Enhanced lymphangiogenesis in the left lateral segment of a biopsied liver during portoenterostomy for biliary atresia.	Pediatr Surg Int. 2024 Oct 4;40(1):261. (オンライン)	Original Article
72	Yano K, Muto M, Sugita K, et al	小児外科	Prognostic factors for pediatric patients with severe intestinal motility disorders: a single institution's experience.	Surg Today. 2025 Mar;55(3):380-385.	Original Article
73	Furuzono N, Togami S, Kitazono I, et al	産科	Malignant peripheral nerve sheath tumor of the cervix in an adolescent with neurofibromatosis type 1: A case report and review of literature.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Dec;50(12):2372-2376.	Case Report
74	Togami S, Nozomi F, Nagata C, et al	産科	A Comparative Analysis of Surgical Results: The hinotoria?® Robotic System Versus the da Vinci®AR Surgical System in Simple Hysterectomy for Benign Uterine Diseases.	Cureus. 2025 Feb 13;17(2):e78975. (オンライン)	Original Article
75	Yanazume S, Kobayashi Y, Kirita Y, et al	産科	A potential inflammatory biomarker for advanced endometrial cancer treated with lenvatinib plus pembrolizumab.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Jan;51(1):e16182.	Original Article
76	Togami S, Furuzono N, Kobayashi Y, et al	産科	Comparative Analysis of da Vinci(AR) Xi and hinotoria?® SRS Robot-Assisted Surgery Systems for Gynecologic Disorders: A Retrospective Study.	Medicina (Kaunas). 2024 Dec 6;60(12):2014. (オンライン)	Original Article
77	Furuzono N, Togami S, Komazaki H, et al	産科	Phosphoglyceride crystal deposition with suspected malignant ovarian tumor: a case report and literature review.	Int Cancer Conf J. 2024 Jul 31;13(4):440-444. (オンライン)	Original Article
78	Mizuno M, Togami S, Shirota K, et al	産科	Three Cases of Serous Tubal Intraepithelial Lesions (STILs).	Cureus. 2024 Jun 22;16(6):e62895. (オンライン)	Case Report

79	Togami S, Furuzono N, Mizuno M, et al	産科	Long-term outcomes of sentinel lymph node navigation surgery for early-stage cervical cancer.	Int J Clin Oncol. 2024 Nov;29(11):1740-1745.	Original Article
80	Yanazume S, Nagata C, Kobayashi Y, et al	産科	Potential prognostic predictors of treatment with immune checkpoint inhibitors for advanced endometrial cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Jan 8;55(1):29-35.	Original Article
81	Yanazume S, Kobayashi H, Ushiwaka T, et al	産科	Robotic dual-docking surgery for para-aortic lymphadenectomy in endometrial cancer: a prospective feasibility study.	Int J Clin Oncol. 2025 Feb;30(2):358-370.	Original Article
82	Yanazume S, Kobayashi Y, Furuzono N, et al	産科	Validation of objective performance metrics via an intelligent medical network in gynecological oncology robotic surgery.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Feb 19:hyaf031.	Original Article
83	Mizuno M, Nakazono M, Furuzono N, et al	産科	Challenges in managing atypical glandular cells in cervical smears: Insights from real-world data and clinicians' perspectives.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Mar;51(3):e16269.	Original Article
84	Tokumoto H, Tominaga H, Maeda S, et al	整形外科・リウマチ外科	Risk factors for vertebral fracture in rheumatoid arthritis patients using biological disease-modifying anti-rheumatic drugs (cases over 5 years): An observational study.	Medicine (Baltimore). 2024 Jul 5;103(27):e38740.	Original Article
85	Kawamura I, Yamaguchi T, Yanagida H, et al	整形外科・リウマチ外科	Factors contributing to severe scoliosis after open chest surgery for congenital heart disease: a case-control analysis.	Spine Deform. 2025 Mar;13(2):441-448.	Original Article
86	Tominaga H, Kawamura I, Tokumoto H, et al	整形外科・リウマチ外科	Fibrin glue-coated collagen matrix is superior to fibrin glue-coated polyglycolic acid for preventing cerebral spinal fluid leakage after spinal durotomy.	Sci Rep. 2024 Oct 9;14(1):23613. (オンライン)	Original Article
87	Tawaratumida H, Iuchi T, Masuda Y, et al	整形外科・リウマチ外科	Zoledronate alleviates subchondral bone collapse and articular cartilage degeneration in a rat model of rotator cuff tear arthropathy.	Osteoarthritis Cartilage. 2025 Jan;33(1):101-115.	Original Article
88	Terasaki H, Funatsu R, Okamura K, et al	眼科	Association between inferior posterior staphyloma on choroidal vessels running patterns in healthy eyes.	Int J Retina Vitreous. 2025 Mar 27;11(1):37. (オンライン)	Original Article
89	Sameshima S, Yamashita T, Terasaki H, et al	眼科	Longitudinal changes of funduscopic optic disc size, color and cup-to-disc ratio in school children.	Int J Retina Vitreous. 2024 Jul 25;10(1):51. (オンライン)	Original Article
90	Yamashita T, Terasaki H, Asaoka R, et al	眼科	Longitudinal changes in the position and thickness of the peak peripapillary retinal nerve fiber layer in school children.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2025 Mar 25.	Original Article
91	Funatsu R, Terasaki H, Mihara N, et al	眼科	Predictive risk scores for visual prognosis after photodynamic therapy for central serous chorioretinopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2025 Mar;263(3):705-711.	Original Article
92	Funatsu R, Terasaki H, Mihara N, et al	眼科	Evaluating photodynamic therapy versus brolucizumab as a second-line treatment for polypoidal choroidal vasculopathy.	Int J Retina Vitreous. 2024 Apr 8;10(1):32. (オンライン)	Original Article

93	Mihara N, Funatsu R, Sonoda S, et al	眼科	Sex differences in choroidal vessels using novel wide-field choroidal en-face images from optical coherence tomography.	Sci Rep. 2024 Jul 23;14(1):17013. (オンライン)	Original Article
94	Yamashita T, Terasaki H, Asaoka R, et al	眼科	Age prediction using fundus parameters of normal eyes from the Kumejima population study.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2024 Oct;262(10):3393–3401.	Original Article
95	Yamashita T, Asaoka R, Iwase A, et al	眼科	Relationship between fundus sex index obtained using color fundus parameters and body height or axial length in the Kumejima population.	Jpn J Ophthalmol. 2024 Sep;68(5):586–593.	Original Article
96	Nagano H, Matsumoto H, Ando Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Mutations in Anaplastic Thyroid Carcinoma: An Analysis of the Japanese National Genomic Database.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2025 Mar 7;10(2):e70110.	Original Article
97	Matsumoto H, Nagano H, Kyutoku T, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Genetic Analysis of Melanoma Types Using Japanese Genomic Database.	Laryngoscope. 2025 Jan;135(1):134–139.	Original Article
98	Takumi K, Hakamada H, Nagano H, et al	放射線科	Postoperative prognostic assessment using ECV fraction derived from equilibrium contrast-enhanced CT in thymomas.	Eur J Radiol. 2025 Mar;184:111978.	Original Article
99	Hirahara M, Nakajo M, Kitazano I, et al	放射線科	Usefulness of the Primary Tumor Standardized Uptake Value of Iodine-123 Metaiodobenzylguanidine for Predicting Metastatic Potential in Pheochromocytoma and Paraganglioma.	Mol Imaging Biol. 2024 Dec;26(6):1005–1015.	Original Article
100	Takumi K, Nagano H, Kamimura Y, et al	放射線科	Association between left atrial function and pulmonary vein stump thrombus after left upper lobectomy: insights from cine-MRI.	Sci Rep. 2025 Feb 24;15(1):6629. (オンライン)	Original Article
101	Nakajo M, Hirahara D, Jinguji M, et al	放射線科	Applying deep learning-based ensemble model to [(18)F]-FDG-PET-radiomic features for differentiating benign from malignant parotid gland diseases.	Jpn J Radiol. 2025 Jan;43(1):91–100.	Original Article
102	Takumi K, Nakanosono R, Nagano H, et al	放射線科	Multiparametric approach with synthetic MR imaging for diagnosing salivary gland lesions.	Jpn J Radiol. 2024 Sep;42(9):983–992.	Original Article
103	Nagano H, Takumi K, Nagano E, et al	放射線科	Electron density derived from dual-energy CT for predicting thrombolytic therapeutic efficacy in patients with pulmonary embolism.	Jpn J Radiol. 2025 Feb 14.	Original Article
104	Nakajo M, Hirahara D, Jinguji M, et al	放射線科	Machine learning-based prognostic modeling in gallbladder cancer using clinical data and pre-treatment [(18)F]-FDG-PET-radiomic features.	Jpn J Radiol. 2025 May;43(5):864–874.	Original Article
105	Uchino E, Kusumoto-Yoshida I, Kashiwadani H, et al	麻酔科	Identification of hypothermia-inducing neurons in the preoptic area and activation of them by isoflurane anesthesia and central injection of adenosine.	J Physiol Sci. 2024 Jun 12;74(1):33. (オンライン)	Original Article
106	Harimochi S, Godai K, Nakahara M, et al	麻酔科	Comparison of remimazolam and sevoflurane for general anesthesia during transcatheter aortic valve implantation: a randomized trial.	Can J Anaesth. 2025 Mar;72(3):397–408.	Original Article

107	Onitsuka K, Godai K, Tanoue S, et al	麻酔科	Incidence, outcomes, and risk factors of postlaparoscopic subcutaneous emphysema: a historical cohort study.	Can J Anaesth. 2025 Jan;72(1):152–161.	Original Article
108	Yamashita K, Yoshimine S, Uto A, et al	歯科麻酔科	Screening Female Patients With Autonomic Nervous System Imbalance Using the Toho Medical Index Before Tooth Extraction.	Cureus. 2024 Dec 24;16(12):e76345. (オンライン)	Original Article
109	Uto A, Yamashita K, Yoshimine S, et al	歯科麻酔科	Analysis of perioperative autonomic nervous system activity to visualize stress in pediatric patients undergoing alveolar bone graft surgery.	J Clin Monit Comput. 2025 Feb;39(1):45–52.	Original Article
110	Ohama R, Matsumoto S, Ohama Y, et al	リハビリテーション科	A new method for detecting unilateral spatial neglect with tracing tasks using the Rey-Osterrieth complex figure: a pilot study.	Neurol Sci. 2024 Oct;45(10):4789–4798.	Original Article
111	Natsume K, Yoshida A, Sakakima H, et al	リハビリテーション部	Age-independent benefits of postoperative rehabilitation during chemoradiotherapy on functional outcomes and survival in patients with glioblastoma.	J Neurooncol. 2024 Oct;170(1):129–137.	Original Article
112	Niiyama S, Nakashima T, Ueno K, et al	救命救急センター(救急科)	Machine Learning Analysis of Predictors for Inhaled Nitric Oxide Therapy Administration Time Post Congenital Heart Disease Surgery: A Single-Center Observational Study.	Cureus. 2024 Jul 30;16(7):e65783. (オンライン)	Original Article
113	Hiroshimaya T, Kawagoe Y, Fukuhara K, et al	口腔保健科	Relationship between oral hypofunction and medical expenditure in older adults in Japan.	Sci Rep. 2025 Jan 13;15(1):1874. (オンライン)	Original Article
114	Tamaki N, Hiroshimaya T, Fukuhara K, et al	口腔保健科	Factors correlated to oral frailty and number of remaining teeth among 80-year-old population in Japan.	BMC Geriatr. 2024 Nov 29;24(1):979. (オンライン)	Original Article
115	Maeda-Iino A, Nakagawa S, Marutani K, et al	矯正歯科	Comparison of Bone Formation After Early and Late Secondary Alveolar Bone Grafting in Patients With Unilateral and Bilateral Cleft Lip and Palate.	Clin Exp Dent Res. 2025 Feb;11(1):e70116.	Original Article
116	Itotagawa M, Kono H, Higashinakao T, et al	保存科	Adsorption of oral antibacterial agents on zirconia surfaces with different crystal systems.	RSC Adv. 2024 Aug 20;14(36):26457–26463. (オンライン)	Original Article
117	Shirakata Y, Nakamura T, Setoguchi F, et al	歯周病科	Histological evaluation of nonsurgical periodontal treatment with and without the use of sodium hypochlorite / amino acids and cross-linked hyaluronic acid gels in dogs.	Clin Oral Investig. 2024 Apr 27;28(5):281. (オンライン)	Original Article
118	Murahara S, Uenodan A, Yanagida H, et al	冠・ブリッジ科	Bond strength of 4META-MMA-TBB resin to a CAD/CAM composite resin block and analysis of acetone-insoluble cured resin residues at adhesive interfaces.	Dent Mater J. 2024 Dec 10;43(6):861–866.	Original Article
119	Sakurai T, Ishii M, Miyata H, et al	義歯インプラント科	Effect of CD10-positive cells on osteogenic differentiation of human maxillary/mandibular bone marrow-derived mesenchymal stem cells.	Arch Oral Biol. 2025 Feb;170:106135.	Original Article

小計13件

120	Oura Y, Ishii M, Miyata H, et al	義歯インプラント科	Evaluation of the effect of platelet-derived growth factor-BB on the biological activity of human mandibular bone marrow-derived mesenchymal stem cells.	Arch Oral Biol. 2025 Jun;174:106244.	Original Article
121	Mardiyantoro F, Chiba N, Seong CH, et al	口腔顎顔面外科	Two-sided function of osteopontin during osteoblast differentiation.	J Biochem. 2025 Feb 5;177(2):121-131.	Original Article
122	Takayama H, Yoshimura T, Suzuki H, et al	口腔顎顔面外科	Comparison between single-muscle evaluation and cross-sectional area muscle evaluation for predicting the prognosis in patients with oral squamous cell carcinoma: a retrospective cohort study.	Front Oncol. 2024 May 1;14:1336284. (オンライン)	Original Article
123	Shimojukkoku Y, Nguyen PT, Ishihata K, et al	口腔顎顔面外科	Role of early growth response-1 as a tumor suppressor in oral squamous cell carcinoma.	Discov Oncol. 2024 Nov 26;15(1):714. (オンライン)	Original Article
124	Mishima Y, Nakamura M, Matsuda Y, et al	口腔外科	Association Between Cognitive Impairment and Poor Oral Function in Community-Dwelling Older People: A Cross-Sectional Study.	Healthcare (Basel). 2025 Mar 7;13(6):589. (オンライン)	Original Article
125	Noma Y, Sawayama H, Yamashiro K, et al	口腔外科	Melting curve analyses in the quantitative real-time polymerase chain reaction of methylated/non-methylated DNA toward the detection of oral cancer using gargle fluid.	Heliyon. 2025 Jan 24;11(3):e42286. (オンライン)	Original Article
126	Nishi K, Okui T, Takeshita Y, et al	口腔外科	A case of a large venous ring around the mandibular condyle.	Surg Radiol Anat. 2025 Mar 11;47(1):95. (オンライン)	Case Report
127	Higashi S, Yamakuchi M, Hashinokuchi H, et al	検査部(臨床検査科)	Adaptation to acidic conditions that mimic the tumor microenvironment, downregulates miR-193b-3p, and induces EMT via TGFI22 in A549 cells.	PLoS One. 2025 Feb 24;20(2):e0318811. (オンライン)	Original Article
128	Sakaguchi T, Mitsu A, Osako Y, et al	泌尿器科	Assessing antiviral treatment efficacy and risk factors for severe COVID-19 in kidney transplant recipients during the Omicron subvariant-dominant period: a retrospective study.	BMC Nephrol. 2024 Apr 8;25(1):124. (オンライン)	Original Article
129	Arima J, Yoshino H, Fukumoto W, et al	泌尿器科	LncRNA BCYRN1 as a Potential Therapeutic Target and Diagnostic Marker in Serum Exosomes in Bladder Cancer.	Int J Mol Sci. 2024 May 29;25(11):5955. (オンライン)	Original Article
130	Saito S, Yoshino H, Yokoyama S, et al	泌尿器科	Targeting Heat Shock Transcription Factor 4 Enhances the Efficacy of Cabozantinib and Immune Checkpoint Inhibitors in Renal Cell Carcinoma.	Int J Mol Sci. 2025 Feb 19;26(4):1776. (オンライン)	Original Article
131	Sakaguchi T, Osako Y, Mitsu A, et al	泌尿器科	Giant calyceal diverticulum diagnosed in pregnancy: A case report of successful percutaneous catheter management during pregnancy and robot-assisted calyceal diverticulectomy after delivery.	Urol Case Rep. 2025 Jan 9;59:102935. (オンライン)	Case Report
132	Kirishima M, Yokoyama S, Akahane T, et al	病理部・病理診断科	Prognosis prediction via histological evaluation of cellular heterogeneity in glioblastoma.	Sci Rep. 2024 Oct 23;14(1):24955. (オンライン)	Original Article

133	Amitani H, Nishi R, Fukumoto T, et al	心身医療科	Severe fibromyalgia alleviated by the unique muscle relaxation method of applying low force: A case report.	Medicine (Baltimore). 2024 Apr 19;103(16):e37929	Case Report
134	Amitani H, Suzuki H, Kobayashi H, et al	心身医療科	Relationship between the severity of pre-frailty and the degree of adaptation of Ninjin'yoito (NYT) on pre-frailty.	Front Aging. 2024 Apr 12;5:1304217. (オンライン)	Original Article
135	Kawamura J, Takahashi Y, Nakae K, et al	小児科	Infantile scimitar syndrome with severe pulmonary hypertension with novel 3p26 microdeletion/12q23-24 microduplication: Case report and literature review	PROG PEDIATR CARDIOL.2025 MAR:76:6	Review
136	Kawashima Y, Hagimoto A, Abe H, et al	顎顔面放射線科	Prevalence rate and clinical symptom of extra-articular diseases of the head and neck region mimicking temporomandibular disorders on 3T MRI	ORAL SCI INT.2024 JUL:22(1):7	Original Article
137	Kawashima Y, Hagimoto A, Abe H, et al	顎顔面放射線科	Using texture analysis of ultrasonography images of neck lymph nodes to differentiate metastasis to non-metastasis in oral maxillary gingival squamous cell carcinoma	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN:37(1):6	Original Article
138	Oi H, Hozaka Y, Akahane T, et al	消化器外科	Genetic Assessment of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm for Predicting Concomitant Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Pancreas. 2024 Nov-Dec 01;53(10):e790-e795.	Original Article
139	Indo HP, Chatatikun M, Nakanishi I, et al	顎顔面放射線科	The Roles of Mitochondria in Human Being's Life and Aging.	Biomolecules. 2024 Oct 17;14(10):1317. (オンライン)	Original Article
140	Shima K, Nguyen PT, Shimojukkoku Y, et al	病理部(病理診断科)	Solitary circumscribed neuroma of the upper lip: A case report	J ORAL MAX SURG MED.2024 JUL:36(4):3	Original Article
141	Kawashima Y, Abe H, Hagimoto A, et al	顎顔面放射線科	Texture analysis of ultrasonography to differentiate metastatic from nonmetastatic cervical lymph nodes in mandibular gingival squamous cell carcinoma	ORAL SCI INT.2024 JUN:22(1):9	Original Article
142	Shima K, Shimojukkoku Y, Hijioka H, et al	病理部(病理診断科)	Spindle cell squamous cell carcinoma of the maxillary sinus as a metachronous head and neck cancer	ORAL SCI INT.2024 AUG:22(1):5	Original Article
143	Murakami M, Nishida N, Nagano A, Sugita K, Yano K, Harumatsu T, Onishi S, Yamada K, Yamada W, Kawano T, Muto M, Ieiri S.	小児外科	Evaluation of skill acquisition characteristics depending on the size of a dry box.	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2024 Aug 33(4):224-231	Original Article
144	Onishi S, Esumi G, Fukuhara M, Sato T, Izaki T, Ieiri S, Handa N.	小児外科	Long-term cosmetic outcomes of the slit-slide procedure for umbilical hernia repair in children.	Surg Today. 2024 Jun;54(6):565-573.	Original Article
145	Kedoin C, Muto M, Nagano A, Matsui M, Sugita K, Baba T, Miyoshi K, Masuya R, Murakami M, Yano K, Onishi S, Harumatsu T, Yamada W, Yamada K, Matsukubo M, Kawano T, Kuda M, Nakame K, Torikai M, Ieiri S.	小児外科	Notable Clinical Differences Between Neonatal and Post-Neonatal Intestinal Malrotation: A Multicenter Review in Southern Japan.	J Pediatr Surg. 2024 Apr;59(4):566-570.	Original Article

146	Sugita T, Taro T, Onishi S, Iwamoto Y, Ogata M, Takada L, Kedoin C, Masakazu M, Harumatsu T, Kawano T, Muto M, Kumagai K, Ido A, Kaji T, Ieiri S.	小児外科	Superiority of Intestinal Adaptation by Hepatocyte Growth Factor in the Jejunum: An Experimental Study in a Short-Bowel Rat Model.	J Pediatr Surg. 2024 Apr;59(4):627- 633.	Original Article
147	Nakajo M, Hirahara D, Jinguji M, Ojima S, Hirahara M, Tani A, Takumi K, Kamimura K, Ohishi M, Yoshiura T	放射線科	Machine learning approach using 18F- FDG-PET-radiomic features and the visibility of right ventricle 18F-FDG uptake for predicting clinical events in patients with cardiac sarcoidosis.	Jpn J Radiol. 2024 Jul;42(7):744-752.	Original Article
148	Fujishima K, Sakuta T, Tamak N	口腔保健科	Oral local factors affecting candida colonization in patients undergoing perioperative oral care	Journal of Microorganism Control, 2025年1	Original Article
149	Shuji Nagatomi	心臓血管外科	Removal of infected pacemaker leads using an endoscopic minimally invasive cardiac surgical approach: a case report	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2024 Jun 24;3(1):33	Case Report

小計4件
合計149件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限ることであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.と
4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない);
巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	寺薗 英之,菅原 英輝, 有馬 純子	薬剤部	九州山口薬学会アンケート 働き方改革に伴う薬剤師の業務内容の変更	九州薬学会雑誌;2024.10:78:137-146	Original Article
2	有上 貴明,松下 大輔, 下之園 将貴 他	消化器外科	固形癌における免疫微小環境、リンパ節転移 切除不能進行胃癌のConversion Surgeryにおいてもリンパ節の郭清意義はあるのか?	リンパ学;2024.12:47:108-114	Original Article
3	松下 大輔,有上 貴明, 下之園 将貴 他	消化器外科	悪性腫瘍とリンパ流、リンパ節転移 早期胃癌に対するSentinel node navigation surgery	リンパ学;2024.06:47:36-41	Original Article
4	志水 優子,河野 恵子, 網谷 真理恵 他	心身医療科	柴胡桂枝湯が奏功した頸関節症の1例	日本東洋医学雑誌;2025.01:76:20-23	Original Article
5	中村 俊介,島ノ江 研斗, 井手 貴之	整形外科・リウマチ外科	第5中足骨骨髓炎に対してMasquelet法を併用し、感染の鎮静化・骨癒合を得られた1例	日本足の外科学会雑誌;2024.08:45:249-251	Original Article
6	米澤 理沙子,大久保 葵,川平 尚生 他	皮膚科	病巣中に多数の脂肪細胞を認めた隆起性皮膚線維肉腫の1例	Skin Cancer;2024.06:39:26-29	Original Article
7	中原 真由美,山田 知 嗣,五代 幸平 他	麻酔科	頸関節症および咀嚼筋腱・腱膜過形成症による麻酔導入後の開口障害に対し歯科用バイトブロックが有用であった1症例	麻酔;2024.12:73:853-857	Original Article
8	向原 桂香,中原 真由 美,山田 知嗣 他	麻酔科	帝王切開術中に臨床的心肺虚脱型羊水塞栓症を発症した1例	日本臨床麻酔学会誌;2025.01:45:35-38	Original Article
9	野口 航,土谷 飛鳥,青 木 弘道 他	救急科	船舶を活用した災害医療 乗船における課題と今後の展望	日本救急医学会雑誌;2024.07:35:247-254	Original Article
10	新山 修平,平松 有,中 條 正典 他	救急科	けいれん発作を伴う意識障害の病態把握と診断の一助として脳血流イメージングMRI arterial spin labelingを用いた2症例の検討	日本救急医学会雑誌;2024.08:35:257-262	Original Article
11	山下 翔太,佐藤 満仁, 下野 謙慎 他	救急科	ネコを媒介として重症熱性血小板減少症候群を発症したと考えられる1例	日本集中治療医学会雑誌;2024.09:31:517-518	Original Article
12	眞弓 芳子,入來 泰久, 平島 忠寛 他	救急科	Refeeding症候群からTorsade de Pointesを合併した1例	体液・代謝管理;2024.40:13-16	Original Article
13	北上 守俊,山口 明乙香	リハビリテーション部	高次脳機能障害者に対するテレワーク支援の実態に関する研究	総合リハビリテーション;2024.12:52:1327-1333	Original Article
14	北上 守俊,豊栄 峻,衛 藤 誠二 他	リハビリテーション部	頸椎症性脊髄症に対するしひれ同調経皮的電気神経刺激が生活行為に及ぼす効果 症例報告	作業療法;2024.08:43:532-539	Original Article
15	中尾 周平,窪薙 琢郎, 豊川 建二 他	リハビリテーション部	当院における高齢TAVI実施患者の特性ならびに性差についての検討	理学療法かごしま;2024.3:8-15	Original Article
16	東 桂子,古田 真美,太 鼓 真規 他	地域医療支援センター	鹿児島県地域枠医師における専門医取得遅延に関する研究(第1報)	べき地・離島救急医療学会誌;2025.02:22:24-31	Original Article

計16件

17	村山 由香里,有馬 直伸,重久 友紀 他	薬剤部	院外処方箋に表示する臨床検査項目の検討と保険薬局における臨床検査値の利用状況の調査	医療薬学;2024.08:50:411-420	Original Article
18	日高 朋,新田 美奈,西川 拓朗 他	薬剤部	神経芽腫に対するジヌツキシマブ持続投与終了後の疼痛コントロールに難渋した1症例	日本病院薬剤師会雑誌;2024.04:60:382-386	Original Article
19	菅原 英輝	薬剤部	我が国の有害事象自発報告データベースを用いたがん・緩和薬物療法に関する研究報告	日本緩和医療薬学雑誌;2024.09:17:69-85	Original Article
20	若松 重良,西郷 康正,奥 好史 他	医療技術部	大規模災害を想定した緊急時放射線画像参照ネットワークの構築	日本放射線技術学会雑誌;2024.04:80:385-389	Original Article
21	堀切 陽祐,小木曾 和磨,當房 卓也 他	糖尿病・内分泌内科	中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症の診断に至った13歳男児の低血糖症例	日本内分泌学会雑誌;2024.06:100:8-10	Original Article
22	西川 拓朗	小児科	原発性免疫不全症の診断と感染予防マスクリーニングの導入にあたって	小児科;2024.05:65:460-466	Review
23	島田 邦彦,指宿 敦子,吉崎 愛 他	皮膚科	【皮膚筋炎のすべて】落葉状天疱瘡を合併した抗TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎	皮膚病診療;2025.02:47:129-133	Original Article
24	久保 茉鈴,中澤 祐則,斎藤 司朗 他	眼科	抗アクアポリン4抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の1例	臨床眼科;2025.01:79:102-107	Original Article
25	町田 碧,寺崎 寛人,三原 直久 他	眼科	若年で発症したintrapapillary hemorrhage with adjacent peripapillary subretinal hemorrhage(IHAPSH)の1例	臨床眼科;2024.04:78:431-436	Original Article
26	三宅 頌己,船津 謙,寺崎 寛人 他	眼科	裂孔原性網膜剥離に対するシリコーンオイルとヘビーシリコーンオイルタンポンナーデの治療成績と合併症の比較検討	臨床眼科;2024.12:78:153-1537	Original Article
27	宇辰 賢祐,寺崎 寛人,坂本 泰二	眼科	重篤な角膜潰瘍を伴ったビタミンA欠乏性眼球乾燥症の1例	臨床眼科;2024.08:78:931-936	Original Article
28	永野 広海,安藤 由実,喜山 敏志 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	嚥下困難を自覚した皮膚筋炎18例の嚥下内視鏡検査	耳鼻咽喉科・頭頸部外科;2024.08:96:763-769	Original Article
29	下菌 知己,喜山 敏志,大堀 純一郎 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	経鼻内視鏡および経皮的アプローチにより摘出し得た涙嚢由来結節性筋膜炎例	耳鼻咽喉科臨床;2024.08:117:71-723	Original Article
30	川畠 雅樹,喜山 敏志,吉松 誠芳 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭全摘出術後の咽頭皮膚瘻についての検討	頭頸部外科;2024.10:34:145-150	Original Article
31	池田 菜緒,西 恭宏	義歯インプラント科	脳梗塞後遺症と義歯の不使用による廢用が考えられた顎口腔機能不全と嚥下障害に対応した症例	老年歯科医学;2024.12:39:E84-E88	Original Article
32	多田 亮平,石畑 清秀,岐部 俊郎 他	口腔顎顔面外科	当科開設後40年間の口唇口蓋裂患者における顎矯正手術の臨床統計学的検討	日本口蓋裂学会雑誌;2024.10:49:209-217	Original Article
33	霧島 茉莉,寺原 航,村上 未樹 他	病理部・病理診断科	EWSR1::BEND2融合遺伝子を有する脊髄/脳幹Astroblastomaの1例	診断病理;2024.04:41:145-151	Original Article
34	霧島 茉莉,村上 未樹,野口 紘嗣 他	病理部・病理診断科	上縦隔進展と左胸腔への突出を伴う脊髄血管芽腫の1例	診断病理;2024.07:41:267-273	Original Article

35	佐々木 文郷,上村 修司,井戸 章雄	消化器内科	アルコール多飲者の上部消化管疾患に対する内視鏡診断 食道扁平上皮癌・下咽頭癌を中心に	Gastroenterological Endoscopy;2024.07:66:1447-1457	Review
36	廣島屋 貴俊,栗野 孝子,川越 佳昭	口腔保健科	フッ化物洗口の継続に関する保護者の歯科保健行動	口腔衛生学会雑誌;2024.07:74:187-195	Original Article
(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。					計2件 合計36件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の主な内容 倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等 	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> 規定の主な内容 目的、定義、委員会の設置、申告書の提出、指導等、異議申立て、情報開示等 	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 臨床研究管理センターのウェブサイトでe-ラーニング(ICR Web)による受講を実施した。 ※主な講座：臨床研究の基礎知識講座（旧 臨床研究入門初級編） 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加し、より一層の研鑽を行う。併せて地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っている本学での研修では、それぞれの専門的で高度な知識と技術の修得が出来る。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	345 人
-------------	-------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	35年	
曾我 欣治	心臓血管外科	部門科長	34年	
上村 修司	消化器内科	部門科長	24年	
大塚 隆生	消化器外科	部門科長	30年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	35年	
花谷 亮典	脳神経外科	部門科長	35年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	40年	
上田 和弘	呼吸器外科	部門科長	31年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	32年	
榎田 英樹	泌尿器科	部門科長	33年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	36年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	40年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	29年	
岡本 康裕	小児科	部門科長	35年	
家入 里志	小児外科	部門科長	31年	
小林 裕明	産科、婦人科	部門科長	40年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	30年	
江川 彰平	皮膚科	部門科長	24年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	40年	
山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	29年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	36年	
田中 達朗	顎顔面放射線科	部門科長	28年	

松永 明	麻酔科	部門科長	37年	
杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	38年	
下堂蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	36年	
玉木 直文	口腔保健科	部門科長	28年	
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	36年	
山座 治義	小児歯科	部門科長	28年	
西谷 佳浩	保存科	部門科長	29年	
野口 和行	歯周病科	部門科長	39年	
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	35年	
西 恭宏	義歯インプラント科	部門科長	39年	
奥井 達雄	口腔外科	部門科長	19年	
西條 英人	口腔顎顔面外科	部門科長	28年	
橋口 照人	検査部	部長	38年	
松永 明	手術部	部長	37年	
垣花 泰之	救命救急センター (救急科)、集中治療部	センター長	38年	
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	41年	
谷本 昭英	病理部、病理診断科	部長	37年	
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	31年	
川村 英樹	感染制御部	副部長	25年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）						
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数			
s mart Prep. SCHOOL of ROCK@鹿児島大学病院コース	2024/6/26	1回	6人			
脊椎疾患の周術期管理	2024/6/1	1回	15人			
肩関節疾患の術式と術後管理	2024/8/1	1回	13人			
化学療法の使用上の注意	2024/10/1	1回	10人			
鹿児島大学公開講座 第5回 摂食嚥下リハビリテーション研修講座 初級コース	2024/10/9 ~ 12/18	8回	49人			
インプラント研修会(歯科衛生士、歯科技工士)	2024/4/24 ~ 3/12	8回	15人			
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり					
ME機器センター研修	別紙「ME機器センター」のとおり					
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）						
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数			
放射線取扱者教育訓練新規	2024/8/1 ~ 8/30	動画	医師、歯科医師以外は 77 (全175)			
放射線取扱者教育訓練更新	2024/9/13 ~ 10/31	動画	医師、歯科医師以外は 174 (全413)			
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり					
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況						
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数			

鹿児島県国保連 令和6年度スキルアップ研修会	2024/6/15	1回	約100人
ROTAPRO プロクター 徳之島徳洲会病院	2024/7/2	1回	約10人
第13回鹿児島県REハート研究会	2024/5/31	1回	50人
心不全療養指導士の集い	2024/11/29	1回	80人
鹿児島大学公開講座 第5回 摂食嚥下リハビリテーション研修講座 初級コース	2024/10/9 ~ 12/18	8回	49人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2024年度 看護部年間教育実施書

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既卒者	新規採用既卒者研修 I 【講義】安全の知識・転倒・転落、内服・点滴管理、薬剤の基礎、輸血 【講義】注射 【講義】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入	4月3日(水) 9:00~16:00 鶴陵会館中ホール	21		1.「転倒・転落」「与薬」「薬剤」「輸血」の安全に関する基本的知識を習得できる 2.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 3.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 4.男性導尿・尿留置カテーテルに関する知識を習得できる	講義	【講義(録画)】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の防止対策」 講師:灰栗英子(医療環境安全部 GRM 副看護部長) 【講義(録画)】「薬剤の基礎~内服薬・注射薬の基礎~」 講師:屋地慶子(薬剤部副部長) 【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 講師:塗木まみ(C7教育委員) 「注射に関する看護師のアセスメント」 講師:内山美香(B7教育委員) 「注射に関する取り決め事項」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入	和田
	輸血のみ 4月8日(月) 14:50~15:50 鶴陵会館大ホール	17	【講義】「輸血の基礎」 講師:古川良尚(輸血・細胞治療部 部長)		和田			
	新規採用既卒者研修 II 【筆記試験】注射 【筆記試験】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 【講義】【演習】チーム力向上 【講義】糖尿病看護 【講義】【演習】フィジカルアセスメント	4月5日(金) 8:50~16:00 鶴陵会館中ホール	20		1.パートナーシップマインドについて説明できる 2.糖尿病患者の看護の基礎知識について説明できる 3.フィジカルアセスメントに関する知識を高めることができる 4.事例の情報を関連付けてアセスメントを行い、一時評価してISBARCで報告できる	講義・演習	【筆記試験】注射(共通、筋肉注射・皮下注射、静脈注射)、男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 【講義】【演習】「チーム力向上」 講師:和田麗(教育専従) 【講義(録画)】「糖尿病患者の看護について」 講師:井手迫和美(糖尿病看護認定看護師) 【講義・演習(録画)】「フィジカルアセスメントフォローアップ」 講師:山下浩美(集中ケア認定看護師)	和田
	新規採用既卒者研修 III 【講義】【演習】褥瘡予防・体位変換 【講義】【演習】輸液ポンプ・シリジポンプ 【演習】採血・注射 【演習】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入	4月10日(水) 8:20~16:00 総合臨床研修センター セミナー室・演習室1・2・3・4	20		1.褥瘡予防の体位変換やポジショニング、良肢位などの基礎知識について説明できる 2.輸液ポンプ・シリジポンプについての基本知識について説明できる 3.輸液ポンプ・シリジポンプを安全に操作できる 4.安全に採血を演習でできる 5.安全に静脈注射・皮下注射を演習で実施できる 6.安全に男性導尿・尿留置カテーテル挿入を演習で実施できる		【講義(録画)】「褥瘡予防技術」 講師:西帯野智代(特定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師) 【演習】ポジショニング インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シリジポンプについて」 講師:中島高博(臨床工学部門 臨床工学技士) 「輸液を受ける患者の看護」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】輸液ポンプ・シリジポンプ インストラクター:和田麗・牧谷美佳・奥加奈(教育専従) 【演習】男性導尿・尿留置カテーテル挿入・採血・静脈注射・皮下注射 インストラクター:和田麗・牧谷美佳・福島真紀・奥加奈・田中久美子(教育専従)	和田
	新規採用既卒者研修 IV- ① 【講義】気管挿管介助 【講義】人工呼吸器の管理 【講義】【演習】12誘導心電図 【講義】【演習】BLS 【講義】【演習】医療器材管理	8月22日(木) 9:30~16:00 総合臨床研修センター セミナー室・演習室3・4 医療器材部	21		1.挿管介助に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 3.人工呼吸器装着中の患者の看護について説明できる 4.12誘導心電図の電極が正しく装着できる 5.演習の場でBLSを実践できる 6.医療材料・衛生材料の管理について説明できる 7.洗浄・消毒・滅菌のシステムについて説明できる 8.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高めることができる	講義・演習	【講義(録画)】「気管挿管の介助」 講師:永野孝哲(手術看護認定看護師) 【講義(録画)】「人工呼吸器の基礎知識」 講師:中島高博(臨床工学部門 臨床工学技士) 【講義(録画)】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師:市川善実(ICU教育委員・特定看護師) 【講義】「12誘導心電図」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【演習】「12誘導心電図」 インストラクター:福島真紀・牧谷美佳(教育専従) 【講義】「BLS」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【講義】「医療器材管理」 講師:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長) 【演習】「BLS」 インストラクター:福島真紀・牧谷美佳(教育専従) 【実地研修】「医療器材管理」 インストラクター:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長)	牧谷
	既卒者技術認定研修 胃チューブ挿入	11月29日(金) 9:10~11:30 A棟9階キャリアアップ研修室	8		1.胃チューブ挿入に関する知識を習得できる 2.胃チューブを演習において安全に挿入できる		【講義(動画)】経管栄養用の胃管挿入・入れ替え 講師:福元幸志(特定看護師) 【筆記試験】胃管挿入 【演習】胃管挿入 インストラクター:福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	新規採用既卒者研修 IV- ② 【講義】【演習】12誘導心電図 【講義】【演習】BLS 【講義】人工呼吸器の管理 【講義】【演習】医療器材管理 【講義】気管挿管介助	2月12日(水) 9:05~10:00 【講義】保健学科4階 基礎・成人看護学実習室 【演習】保健学科3階 シミュレーション室	9		1.挿管介助に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 3.人工呼吸器装着中の患者の看護について説明できる 4.12誘導心電図の電極が正しく装着できる 5.演習の場でBLSを実践できる 6.医療材料・衛生材料の管理について説明できる 7.洗浄・消毒・滅菌のシステムについて説明できる 8.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高めることができる	講義・演習	【講義】「12誘導心電図」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【演習】「12誘導心電図」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
		2月12日(水) 10:00~11:00 【講義】保健学科4階 基礎・成人看護学実習室 【演習】保健学科4階 母性・小児看護学実習室	10				【講義(録画)】「BLS」 講師:瀬戸口美優(B5災害支援ナース) 【演習】「BLS」 インストラクター:奥加奈・牧谷美佳(教育専従)	
		2月12日(水) 11:00~12:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	9				【講義(録画)】「人工呼吸器の基礎知識」 講師:中島高博(臨床工学部門 臨床工学技士) 【講義(録画)】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師:市川善実(ICU教育委員・特定看護師)	
		2月12日(水) 13:00~15:05 A棟9階会議室 医療器材管理部	7				【講義】「医療器材管理」 講師:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長) 【実地研修】「医療器材管理」 インストラクター:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長) 【講義(録画)】「気管挿管の介助」 講師:永野孝哲(手術看護認定看護師)	
		2月28日(金) 9:05~10:10 A棟9階キャリアアップ研修室	3				【講義(録画)】「人工呼吸器の基礎知識」 講師:中島高博(臨床工学部門 臨床工学技士) 【講義(録画)】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師:市川善実(ICU教育委員・特定看護師)	
	新規採用既卒者研修 IV- ③ 【講義】人工呼吸器の管理 【講義】【演習】12誘導心電図 【講義】【演習】BLS 【講義】気管挿管介助	2月28日(金) 10:10~12:00 A棟9階キャリアアップ研修室	5		1.挿管介助に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 3.人工呼吸器装着中の患者の看護について説明できる 4.12誘導心電図の電極が正しく装着できる 5.演習の場でBLSを実践できる	講義・演習	【講義】「12誘導心電図」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【演習】「12誘導心電図」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従) 【講義(録画)】「BLS」 講師:瀬戸口美優(B5災害支援ナース) 【演習】「BLS」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
		2月28日(金) 12:00~12:40 A棟9階キャリアアップ研修室	4				【講義(録画)】「気管挿管の介助」 講師:永野孝哲(手術看護認定看護師)	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既卒		I : 5月7日(火) 8:10~16:00 総合臨床研修センター 演習室3・4 II : 5月8日(水) 8:10~16:00 総合臨床研修センター 演習室3・4 III : 5月14日(火) 9:00~15:00 総合臨床研修センター 演習室3・4、 A棟9階キャリアアップ研修室	1					I : 福島・奥 II : 福島・奥 III : 和田・牧谷
		I : 6月4日(火) 8:10~16:00 II : 6月7日(金) 8:10~16:00 III : 6月11日(火) 8:10~15:10 総合臨床研修センター演習室3・4 A棟9階キャリアアップ研修室	3				I : 福島 II : 奥 III : 牧谷	
		I : 8月5日(月) 8:00~16:00 8月13日(火) 9:00~12:00 III : 8月15日(木) 8:05~16:45 総合臨床研修センター演習室5 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.「転倒・転落」「与薬」「薬剤」「輸血」の安全に関する基本的知識を習得できる 2.パートナーシップマインドについて説明できる 3.糖尿病患者の看護の基礎知識について説明できる 4.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 5.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 6.男性導尿・尿留置カテーテルに関する知識を習得できる 7.患者情報を扱う際の責務について説明できる 8.電子カルテを使って患者情報・e-kanja記録システム・指示確認の閲覧方法がわかる 9.THINK操作、医療安全、感染対策等の各マニュアルなどを展開する方法がわかる 10.POSによる看護記録について説明できる 5.重症度、医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる 11.フィジカルアセスメントに関する知識を高めることができる 12.事例の情報を関連付けてアセスメントを行い、一時評価してISBARCで報告できる 13.褥瘡予防の体位変換やポジショニング、良肢位などの基礎知識について説明できる 14.安全に採血を演習できる 15.安全に静脈注射・皮下注射を演習で実施できる 16.安全に男性導尿・尿留置カテーテル挿入を演習で実施できる 17.輸液ポンプ・シリンジポンプを安全に操作できる	講義・演習	【講義(録画)】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の防止対策」 講師: 友栗英子(医療環境安全部 GRM 副看護部長) 【講義(録画)】「薬剤の基礎～内服薬・注射薬の基礎～」 講師: 屋地慶子(薬剤部副部長) 【講義】【演習】「チーム力向上」 講師: 福島真紀・牧谷美佳・奥加奈(教育専従) 【講義】【録画】「糖尿病患者の看護」 講師: 榎詩帆(糖尿病看護認定看護師) 【講義】【録画】「注射に関する解剖生理」 講師: 塗木まみ(C7教育委員) 「注射に関する看護師のアセスメント」 講師: 内山美香(B7教育委員) 「注射に関する取り決め事項」 講師: 福島真紀(教育専従) 【講義】【録画】「男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入」 【筆記試験】注射(共通、筋肉注射・皮下注射、静脈注射)、男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 【講義】【録画】「THINK操作に関する基本事項」「医療安全と質評価」 講師: 宇都由美子(医療情報部 部長) 【講義】【録画】「THINK操作の説明」 講師: 花原康代(医療情報部看護師) 【講義】【Nurse NAVIの説明】 講師: 奥加奈・福島真紀・牧谷美香(教育専従) 【講義】【録画】「POSによる看護記録」 講師: 奥加奈・福島真紀(教育専従) 【講義】【演習】「重症度・医療・看護必要度」 講師: 福島真紀・奥加奈・牧谷美香(教育専従) 【講義】【録画】「フィジカルアセスメントフローアップ」 講師: 山下浩美(集中ケア認定看護師) 【講義】【録画】「褥瘡予防技術」 講師: 西蒂野智代(特定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師) 【演習】ポジショニング インストラクター: 和田麗・牧谷美佳・奥加奈・福島真紀(教育専従) 【演習】男性導尿・尿留置カテーテル挿入、採血、静脈注射、皮下注射 インストラクター: 和田麗・牧谷美佳・奥加奈・福島真紀(教育専従) 【講義】【録画】「輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 講師: 戸高秀栄(臨床工学部門 臨床工学技士) 【講義】【録画】「輸液を受ける患者の看護」 講師: 福島真紀(教育専従) 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプの操作、採血、静脈注射、皮下注射 インストラクター: 奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	I : 田中・奥 II : 牧谷 III : 奥・福島
		I : 9月3日(火) 8:00~14:45 II : 9月5日(木)9月6日(金) 8:10~16:10 III : 9月10日(火) 8:05~15:10 A棟9階会議室・キャリアアップ研修室	2	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。				I : 牧谷・奥 II : 福島 III : 奥・牧谷
		I : 11月5日(火) 8:20~16:00 II : 11月7日(木) 8:05~16:45 III : 11月12日(火) 8:00~16:45 A棟9階キャリアアップ研修室	1					I : 福島 II : 奥 III : 奥・牧谷
		I : 12月3日(火) 8:30~16:10 II : 12月6日(金) 8:30~15:20 III : 12月10日(火) 8:30~9:30 10:30~15:30 A棟9階キャリアアップ研修室	1					I : 奥 II : 牧谷 III : 福島
		I : 1月7日(火) 8:00~15:45 II : 1月14日(火) 8:00~16:00 III : 1月17日(金) 8:30~16:10 A棟9階キャリアアップ研修室	2					I : 福島 II : 奥 III : 奥
		I : 2月4日(火) 8:00~16:20 II : 2月10日(月) 8:30~16:35 III : 2月13日(木) 9:00~16:00 A棟9階キャリアアップ研修室	1					I : 牧谷 II : 福島 III : 奥・牧谷

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既卒	短時間勤務中途採用者集中研修 I - ①②～③ 【講義】安全の知識 【講義】糖尿病看護 【講義】注射 【筆記試験】注射 【講義】IT研修 【講義】【演習】フィジカルアセスメント 【講義】【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプ 【演習】採血、注射	I -①:8月5日(月) 9:00～12:00 I -②:8月9日(金) 9:00～12:00 II :8月13日(火) 9:00～12:00 III :8月15日(木) 9:00～12:00 A棟9階キャリアアップ研修室	2	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.「転倒・転落」「与薬」「薬剤」の安全に関する基本的知識を習得できる 2.糖尿病患者の看護の基礎知識について説明できる 3.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 4.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 5.電子カルテの患者情報・e-kanja記録システム・指示確認の閲覧方法がわかる 6.THINK操作、医療安全、感染対策等の各マニュアルなどを展開する方法がわかる 7.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法が分かる 8.フィジカルアセスメントに関する知識を高めることができる 9.事例の情報を関連付けてアセスメントを行い、一時評価してISBARCで報告できる 10.輸液ポンプ・シリンジポンプを安全に操作できる 11.安全に採血を演習で実施できる 12.安全に静脈注射・皮下注射を演習で実施できる	講義・演習	【講義(録画)】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の防止対策」 【講義(録画)】「薬剤の基礎～内服薬・注射薬の基礎～」 【講義(録画)】「糖尿病患者の看護」 【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 【講義(録画)】「注射に関する看護師のアセスメント」 【講義(録画)】「注射に関する取り決め事項」 【筆記試験】注射(共通、筋肉注射・皮下注射、静脈注射) 【講義(録画)】「THINK操作の説明」 【講義(録画)】「Nurse NAVIの説明」 【講義・演習(録画)】「フィジカルアセスメントフォローアップ」 【講義(録画)】「輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 【講義(録画)】「輸液を受ける患者の看護」 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプの操作、採血、静脈注射、皮下注射 インストラクター:奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	I -①:奥 I -②:福島 II :牧谷 III :奥
		I -①:9月9日(月) 10:30～12:55 I -②:9月11日(水) 9:00～12:15 II・III :9月20日(金) 9:00～11:25 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
		I :10月2日(水) 8:40～14:10 II・III :10月10日(木) 9:30～13:00 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
		I :11月5日(火) 9:00～14:35 II :11月7日(木) 9:00～15:40 III :11月12日(火) 9:00～10:55 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
		I -①:1月7日(火) 8:30～12:45 I -②:1月8日(水) 8:30～9:50 II :1月14日(火) 8:30～11:45 III :1月17日(金) 8:30～12:40 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
		I -①:2025年1月15日(水) 9:00～12:50 I -②:2月4日(火) 9:25～13:00 II :2月10日(月) 9:05～12:20 III :2月13日(木) 9:00～11:40 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
		I -①:3月4日(火) 9:00～14:35 I -②:3月10日(月) 11:15～14:40 II :3月11日(火) 9:00～12:20 III :3月13日(木) 9:00～11:45 A棟9階キャリアアップ研修室	1					
	中途採用者基礎研修 I	8月2日(金) 8:00～15:50 A棟9階キャリアアップ研修室	1	1.接遇について理解し、行動を考えることができる 2.コミュニケーションについて理解し、SBARで報告することができる 3.「転倒・転落」「与薬」「薬剤」の安全に関する基本的知識を習得できる 4.社会人としての心構え、基本姿勢、マナーが分かる 5.パートナーシップマインドについて理解し、自分が何をすべきか説明できる 6.糖尿病患者の看護の基礎知識について説明でき、血糖測定を安全に演習でできる	講義・演習	【講義(学研e-ラーニング)】接遇マナー 【講義】【演習】協働する力「コミュニケーション力」 【講義(録画)】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の防止対策」 【講義(録画)】「薬剤の基礎～内服薬・注射薬の基礎～」 【講義(録画)】「糖尿病患者の看護」 【講義(録画)】「血糖測定」 【講義(学研e-ラーニング)】「新医療人としてのビジネスマナー」 【講義】【演習】社会人基本姿勢 【講義】【演習】「チーム力向上」 講師:奥加奈(教育専従) 講師:友栗英子(医療環境安全部 GRM 副看護部長) 講師:屋地慶子(薬剤部副部長) 講師:榮詩帆(糖尿病看護認定看護師) 講師:塗木まみ(C7教育委員) 講師:内山美香(B7教育委員) 講師:福島真紀・牧谷美佳(教育専従) インストラクター:奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	奥	
	中途採用者基礎研修 II	8月7日(水) 8:20～15:55 A棟9階キャリアアップ研修室	1	1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識を習得できる 2.患者状態を評価し、ISBARCを用いた報告の必要性を理解できる 3.口腔ケア・食事介助・経管栄養の基礎知識、技術を習得できる 4.患者情報を取り扱う上の責務について説明できる 5.静脈血採血を安全に実施できる知識を身につけ、安全に演習でできる	講義・演習	【講義】【演習(録画)】「フィジカルアセスメント」 【講義(録画)】「食事介助・口腔ケア・経管栄養について」 【演習】口腔ケア・食事介助・経管栄養 インストラクター:牧谷美佳(教育専従) 【講義(録画)】「THINK操作に関する基本事項」「医療安全と質評価」 【講義】「静脈血採血の実際とリスクマネジメント」 【演習】「静脈血採血」 【危険予知トレーニング】「静脈血採血」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既卒	中途採用者基礎研修Ⅲ	8月15日(木) 8:05~15:50 A棟9階キャリアアップ研修室 総合臨床研修センター 演習室5	1	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.POSによる看護記録が理解できる 2.電子カルテの患者情報・e-kanja記録システム・指示確認の閲覧方法がわかる 3.THINK操作、医療安全、感染対策等の各マニュアルなどを展開する方法がわかる 4.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法が分かる 5.輸液ポンプ・シリジポンプを安全に操作できる 6.心の健康とストレス、その対応について説明できる 7.重症度、医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる 8.AEDを含む一次救命処置についての知識を習得できる 9.演習の場でBLSを実践できる	講義・演習	【講義】「POSによる看護記録」講師:奥加奈(教育専従) 【講義(録画)】「THINK操作の説明」 講師:花原 康代(医療情報部看護師) 【講義】「Nurse NAVIの説明」 講師:奥加奈(教育専従) 【講義(録画)】「輸液ポンプ・シリジポンプについて」 講師:戸高秀栄(臨床工学技士) 【講義(録画)】「輸液を受ける患者の看護」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】「輸液ポンプ・シリジポンプの操作」 インストラクター:奥加奈(教育専従) 【講義】【演習(録画)】「ストレスマネジメント」 講師:山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授) 【講義】【演習】「重症度、医療・看護必要度」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「BLS」 講師:瀬戸口美優(55災害支援ナース) 【演習】「BLS」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	奥・福島・牧谷
	中途採用者基礎研修Ⅳ	8月20日(火) 8:30~12:10 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 2.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 3.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる 4.夜勤業務の流れと夜間の看護ケアの特徴が分かる 5.夜勤業務時の自己の体調管理とその重要性について説明できる	講義・演習	【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「注射に関する看護師のアセスメント」 講師:豊田紀子(O3教育委員) 【講義(録画)】「注射に関する取り決め事項」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【危険予知トレーニング】「注射」 インストラクター:福島真紀(教育専従) 【演習】「静脈注射・筋肉注射・皮下注射」 インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義】「夜勤導入前研修」 講師:福島真紀(教育専従)	福島
	基礎研修2補講 <安全の知識> 輸血	8月22日(木) 8:20~9:20 総合臨床研修センター セミナー室	7		1.輸血管理の基礎知識を習得する	講義	【講義】「輸血の基礎」 講師: 古川良尚(輸血・細胞治療部 部長)	牧谷
	基礎研修2補講 <安全の知識> 接遇	12月19日(木) 15:30~16:15 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.接遇について理解し、行動を考えることができる	講義・演習	【講義(学研e-ラーニング)】「接遇マナー」 【演習(ナーシング・マナーDVD)】接遇マナー インストラクター:田中久美子(教育専従)	田中
	基礎研修2補講 <安全の知識> 輸血	2月12日(水) 15:15~15:45 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.輸血管理の基礎知識を習得する	講義	【講義】「輸血の基礎」 講師:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	基礎研修2補講 <安全の知識> 接遇	3月12日(水) 16:00~16:45 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.接遇について理解し、行動を考えることができる	講義・演習	【講義(学研e-ラーニング)】「接遇マナー」 【演習(ナーシング・マナーDVD)】接遇マナー インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	基礎研修1 IT研修	4月4日(木) 8:30~16:00 鶴陵会館 大ホール	88		1.患者情報を扱う上での責務について説明できる 2.電子カルテの患者情報・e-kanja記録システムの閲覧方法がわかる 3.電子カルテの医師指示の確認、閲覧方法が分かる 4.THINKの操作、医療安全、感染対策等の各マニュアル等を展開する方法が分かる 5.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法について説明できる 6.POSによる看護記録が理解できる 7.重症度・医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる	講義・演習	【講義】情報セキュリティに関する動画視聴 【講義】「THINK操作に関する基本事項」 「医療安全と質評価」 講師:宇都由美子(医長情報部 部長) 【講義】「THINK操作の説明」(各種マニュアルの閲覧方法、電子メール機能、共有ディスク、看護計画) 講師:花原康代(看護部システム担当) 【講義・演習】「POSにより看護記録」「重症度・医療看護必要度」 講師:奥 加奈(教育専従) 【講義】「Nurse Naviの説明」「ポートフォリオについて」 講師:福島 真紀(教育専従)	福島
	基礎研修1(補講) II研修	9月10日(木) 8:10~9:00 鶴陵会館 大ホール	1		1.患者情報を扱う上での責務について説明できる 2.電子カルテの患者情報・e-kanja記録システムの閲覧方法がわかる 3.電子カルテの医師指示の確認、閲覧方法が分かる 4.THINKの操作、医療安全、感染対策等の各マニュアル等を展開する方法が分かる 5.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法について説明できる 6.POSによる看護記録が理解できる 7.重症度・医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる	講義・演習	【講義・演習】「POSにより看護記録」「重症度・医療看護必要度」 講師:福島真紀(教育専従)	福島
新人	基礎研修2 <安全の知識> 転倒・転落予防 内服・点滴管理 薬剤・輸血	4月8日(月) 8:30~16:00 鶴陵会館 大ホール	68 輸血のみ85		1.転倒・転落・与薬に関する基本的知識を習得できる 2.接遇について理解し、行動を考えることができる。 3.コミュニケーションについて理解し、SBARで報告することができる。 4.薬剤の基礎知識を習得する 5.輸血管理の基礎知識を習得する	講義・演習	【講義】「転倒・転落の防止対策」「内服管理・点滴管理」 講師: 友栗英子(医療安全管理部 GRM 副看護部長) 【講義】(学研e-ラーニング)「接遇マナーの基本「あいさつ」でかわるおもてなしの心」:村尾孝子先生 【演習】接遇1.入院時の対応 2.療養環境への配慮 インストラクター:和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義】協働する力「コミュニケーション力」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】SBAR報告について インストラクター:福島真紀・奥加奈(教育専従) 【講義】「薬剤の基礎知識~内服薬・注射薬の基礎~」 講師:屋地 廉子(薬剤部副部長) 【講義】「輸血の基礎」 講師: 古川良尚(輸血・細胞治療部 部長)	福島
	基礎研修2(補講) <安全の知識> 転倒・転落予防 内服・点滴管理 薬剤	6月4日(火) 8:20~12:00 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.転倒・転落・与薬に関する基本的知識を習得できる 2.接遇について理解し、行動を考えることができる。 3.コミュニケーションについて理解し、SBARで報告することができる。 4.薬剤の基礎知識を習得する	講義・演習	【講義(録画)】「転倒・転落の防止対策」「内服管理・点滴管理」 講師: 友栗英子(医療安全管理部 GRM 副看護部長) 【講義】(学研e-ラーニング)「接遇マナーの基本「あいさつ」でかわるおもてなしの心」:村尾孝子先生 【演習】接遇1.入院時の対応 2.療養環境への配慮 インストラクター:和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義】協働する力「コミュニケーション力」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】SBAR報告について インストラクター:和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「薬剤の基礎知識~内服薬・注射薬の基礎~」 講師:屋地 廉子(薬剤部副部長)	福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者	
新人	基礎研修3 社会人としての心得 チーム力向上	4月11日 ①8:30~11:30 ②13:00~16:00 第4講義室	68	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.社会人としての心構え、基本姿勢、マナーが分かる。 2.パートナーシップマインドについて説明できる 3.パートナーシップマインドについて理解し、自身が何をすべきか説明できる	講義・演習	【講義(学研e-ラーニング)】「医療人としてのビジネスマナー」村尾孝子先生 【演習】社会人基本姿勢 1. 提出物について 2. 電話対応について インストラクター:奥加奈・福島真紀(教育専従) 【講義】「チーム力向上」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】ロールプレイング インストラクター:和田麗・福島真紀(教育専従)	福島	
	基礎研修3(補講) 社会人としての心得 チーム力向上	6月4日 10:05~11:40 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.社会人としての心構え、基本姿勢、マナーが分かる。 2.パートナーシップマインドについて説明できる 3.パートナーシップマインドについて理解し、自身が何をすべきか説明できる	講義・演習	【講義(学研e-ラーニング)】「医療人としてのビジネスマナー」村尾孝子先生 【演習】社会人基本姿勢 1. 提出物について 2. 電話対応について インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義】「チーム力向上」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】ロールプレイング インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島	
	基礎研修4 体位変換・褥瘡予防	①4月15日(月) ②4月16日(火) 1G:8:25~11:30 2G:12:55~16:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	68		1.褥瘡予防の体位変換やポジショニング、良肢位などの基礎的知識・技術を習得できる	講義・演習	【講義】「褥瘡予防のためのポジショニング技術」 講師:西蒂野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) 【演習】褥瘡予防技術 インストラクター:西蒂野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) 教育専従:和田麗・牧谷美佳・福島真紀・奥加奈	福島・奥	
	基礎研修5 糖尿病患者の看護・血糖測定	4月18日(木) 9:10~11:20 鶴陵会館 中・小ホール	69		1.糖尿病看護の基礎知識を習得できる 2.血糖測定を安全に演習でできる	講義・演習	【講義】「糖尿病患者の看護」 講師:榮詩帆(糖尿病看護認定看護師) 【講義】「血糖測定の実際」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【演習】血糖測定 インストラクター:和田麗・牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	和田	
	基礎研修6-①② 口腔ケア・食事介助・経管栄養	①4月22日(月) ②4月23日(火) 1G:8:20~11:30 2G:12:50~16:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	74		1.口腔ケアの基礎知識・技術を習得できる 2.食事介助の基礎知識・技術を習得できる 3.経管栄養の基礎知識・技術を習得できる	講義・演習	【講義】(①1Gのみ対面、以降録画) 「食事介助・口腔ケア・経管栄養について」 講師:鈴木真由美(C5教育委員・摂食嚥下障害認定看護師) 【演習】口腔ケア・食事介助・経管栄養 インストラクター: 鈴木真由美(C5教育委員・摂食嚥下障害看護認定看護師)(①1Gのみ) 和田麗・牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	和田	
	基礎研修7 輸液ポンプ・シリンジポンプ	5月2日(木) 講義 8:30~9:20 第4講義室	70		1.輸液ポンプ・シリンジポンプについての基礎知識が習得できる 2.輸液ポンプ・シリンジポンプを演習を通して、安全な操作が習得できる	講義	【講義】「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 講師:戸高 秀栄(臨床工学技士) 【講義】「輸液を受ける患者の看護」 講師: 福島真紀(教育専従)	奥	
		演習 1G:9:30~12:10 2G:13:20~16:00 総合臨床研修センター セミナー室・演習室3・4			1.輸液ポンプ・シリンジポンプについての基礎知識が習得できる 2.輸液ポンプ・シリンジポンプを演習を通して、安全な操作が習得できる	演習	【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い インストラクター: 戸高秀栄・中島高博・大野拓真(臨床工学技士) 和田麗・牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	奥	
	基礎研修8 ストレスマネジメント 夜勤導入前説明	5月20日(月) 9:00~12:15 第4講義室	75		1.心の健康とストレス、その対応について説明できる 2.夜勤業務の流れと夜間の看護ケアの特徴が分かる 3.夜勤業務時の自己の体調管理とその重要性について説明できる	講義・演習	【講義】「ストレスマネジメント」 講師:山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授) 【演習】ストレスマネジメント 講師:山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授) インストラクター:和田麗・牧谷美佳(教育専従) 【講義】「夜勤の心得」 講師:牧谷美佳(教育専従)	牧谷・和田	
	基礎研修8補講 ストレスマネジメント 夜勤導入前説明	6月25日(火) 10:00~11:45 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.心の健康とストレス、その対応について説明できる 2.夜勤業務の流れと夜間の看護ケアの特徴が分かる 3.夜勤業務時の自己の体調管理とその重要性について説明できる	講義・演習	【講義(録画)】「ストレスマネジメント」 講師:山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授) 【演習(録画)】ストレスマネジメント 講師:山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) 【講義】「夜勤の心得」 講師:牧谷美佳(教育専従)	牧谷	
	基礎研修9-①② 吸引・酸素吸入	①5月29日(水) ②6月6日(木) 1G:8:30~12:00 2G:12:30~16:00 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4・セミナー室	65		1.口鼻腔吸引が演習でできる 2.気管内吸引が演習でできる 3.酸素吸入中の患者の看護について説明できる 4.呼吸音聴診ができる	講義・演習	【講義】(①1Gのみ対面、以降録画) 「酸素吸入中の患者の看護」 【講義】「気管内吸引について」 【演習】吸引 インストラクター: ①5/29: 山元ゆかり(B3教育委員)・有川理恵(C4教育委員)・竹内愛美(C6部署教育ナース) 上赤昂佑(ICU部署教育ナース)、奥加奈・牧谷美佳(教育専従) ②6/6: 岩坪笑(B5教育委員)・神蘭健二(C2部署教育ナース) 廣川愛理(手術部部署教育ナース)、奥加奈・牧谷美佳(教育専従) 【講義】「呼吸音聴診」 【演習】呼吸音聴診 【危険予知トレーニング】「酸素吸入」 講師:福島真紀(教育専従) インストラクター:福島真紀(教育専従) 【演習】吸引 インストラクター:和田麗・牧谷美佳(教育専従)	牧谷・和田/福島 5/29山元・有川 6/6岩坪	
	基礎研修9補講 吸引・酸素吸入	9月6日(金) 9:00~11:50 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	4		1.口鼻腔吸引が演習でできる 2.気管内吸引が演習でできる 3.酸素吸入中の患者の看護について説明できる 4.呼吸音聴診ができる	講義・演習	【講義(録画)】「酸素吸入中の患者の看護」 講師:有川理恵(C4教育委員・呼吸療法士) 【講義】「気管内吸引について」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【講義】「呼吸音聴診」 講師:牧谷美佳(教育専従) 【演習】呼吸音聴診 【危険予知トレーニング】「酸素吸入」 講師:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) 【演習】吸引 インストラクター:田中久美子・牧谷美佳(教育専従)	牧谷	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者	
新人	基礎研修9補講 吸引・酸素吸入	11月12日(火) 14:30~16:45 総合臨床研修センター 演習室3・4	1	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.口鼻腔吸引が演習でできる 2.気管内吸引が演習でできる 3.酸素吸入中の患者の看護について説明できる 4.呼吸音聴診ができる	講義・演習	【講義(録画)】「酸素吸入中の患者の看護」 【講義】「気管内吸引について」 【講義】「呼吸音聴診」 【演習】呼吸音聴診 【危険予知トレーニング】「酸素吸入」 【演習】吸引	講師:有川理恵(C4教育委員・呼吸療法士) 講師:牧谷美佳(教育専従) 講師:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	基礎研修10-①② 採血	①6月20日(木) ②6月21日(金) 1G:8:40~11:40 2G:13:00~16:00 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	68		1.静脈血採血が安全に実施できる知識を身につけることができる 2.静脈血採血を安全に演習でできる	講義・演習	【小テスト】「輸液ポンプ・シリンジポンプ」(新卒のみ) 【講義】「静脈血採血の実際とリスクマネジメント」 【演習】静脈血採血 インストラクター: ①6/20:鈴木真由美(C5教育委員)、朝倉弥生(C7教育委員)、山下佳恵(B3部署教育ナース) 岩倉詩織(B6部署教育ナース)、奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②6/21:柴詩帆(2・4階外来教育委員)、迫田香穂里(B8教育委員) 江口真弥(C4部署教育ナース)、宮下直子(C3部署教育ナース) 奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従) 【危険予知トレーニング】「静脈血採血」 インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	担当:牧谷美佳(教育専従) 講師:牧谷美佳(教育専従)	牧谷・福島 6/20鈴木・朝倉 6/21柴詩帆・迫田
	基礎研修11-①② フィジカルアセスメント	①7月3日(水) ②7月4日(木) <新卒>12:30~16:00 <既卒>12:30~15:40 総合臨床研修センターセミナー室	71		1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識(呼吸・循環・中枢神経系)を習得できる 2.患者状態を評価し、ISBARCを用いた報告の必要性を理解できる 3.フィジカルアセスメントに必要な基本技術が習得できる 4.事例のフィジカルイグザミネーションを行うことができる 5.事例のフィジカルイグザミネーションを行い、正常・異常の判断ができる	講義・演習	【講義】「フィジカルアセスメント」 【演習】フィジカルアセスメント インストラクター: ①7/3:朝倉弥生(C7教育委員)、福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②7/4:福永文俊(リハ教育委員)、竹内愛美(C6部署教育ナース) 福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) 演習講師:山下浩美(集中ケア認定看護師)	牧谷・福島 7/3朝倉 7/4福永
	基礎研修11補講 フィジカルアセスメント	8月7日(水) 8:25~10:55 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識(呼吸・循環・中枢神経系)を習得できる 2.患者状態を評価し、ISBARCを用いた報告の必要性を理解できる 3.フィジカルアセスメントに必要な基本技術が習得できる 4.事例のフィジカルイグザミネーションを行うことができる 5.事例のフィジカルイグザミネーションを行い、正常・異常の判断ができる	講義・演習	【講義(録画)】「フィジカルアセスメント」 【演習(講師解説のみ録画)】「フィジカルアセスメント」 演習講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) 演習講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	基礎研修12-①② 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	①7月12日(金) ②7月16日(火) 8:25~15:55 共通教育棟402講義室 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	67		1.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 2.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 3.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる	講義・演習	【講義】「注射に関する解剖生理」(②は録画) 【講義】「注射に関する看護師のアセスメント」(②は録画) 【講義】「注射に関する取り決め事項」 【危険予知トレーニング】「注射」 【演習】静脈内注射・筋肉注射・皮下注射 インストラクター: ①7/12:豊田紀子(C3教育委員)、戸島典佳(B4部署教育ナース)、 奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②7/16:水川桂子(R1教育委員)、溜ひとみ(B7教育委員)、戸口田勝(C5部署教育ナース)、 塚脇洋平(B8部署教育ナース)、奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	講師:福島真紀(教育専従) 講師:豊田紀子(C3教育委員) 講師:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) 講師:戸島典佳(B4部署教育ナース) 奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②7/16:水川桂子(R1教育委員)、溜ひとみ(B7教育委員)、戸口田勝(C5部署教育ナース)、 塚脇洋平(B8部署教育ナース)、奥加奈・福島真紀・牧谷美佳(教育専従)	牧谷 7/12豊田 7/16水川・溜
	基礎研修12補講 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	8月28日(水) 9:00~12:30 A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.静脈内注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 2.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 3.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる	講義・演習	【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 【講義(録画)】「注射に関する看護師のアセスメント」 【講義(録画)】「注射に関する取り決め事項」 【危険予知トレーニング】「注射」 【演習】静脈内注射・筋肉注射・皮下注射	講師:福島真紀(教育専従) 講師:豊田紀子(C3教育委員) 講師:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従) インストラクター:牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	基礎研修13-①② BLS	①8月5日(月) ②8月6日(火) 1G:8:15~11:50 2G:12:25~16:00 保健学科4階 母性・小児看護学実習室	67		1.AEDを含む一次救命処置についての知識を習得できる 2.演習の場でBLSを実践できる	講義・演習	【筆記試験】「注射」 【講義】「BLS」 【演習】「BLS」 インストラクター: ①8/5:瀬戸口美優(B5災害支援ナース)、柴詩帆(2・4階外来教育委員) 山下佳恵(B3部署教育ナース)、河野雄治(C7部署教育ナース) 牧谷美佳・福島真紀(教育専従) ②8/6:塩崎えり(B8災害支援ナース)、豊田紀子(C3教育委員)、神薗健二(C2部署教育ナース)、 江口真弥(C4部署教育ナース)、牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	担当:1G 福島真紀(教育専従), 2G 奥加奈(教育専従) 講師:8/5 瀬戸口美優(B5災害支援ナース) 8/6 塩崎えり(B8災害支援ナース)	牧谷 8/5柴詩帆 8/6豊田
	基礎研修13補講 BLS	2月12日(水) 10:00~11:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室 母性・小児看護学実習室	1			講義・演習	【講義(録画)】「BLS」 【演習】「BLS」 インストラクター:奥加奈・牧谷美佳(教育専従)	講師:瀬戸口美優(B5災害支援ナース) インストラクター:奥加奈・牧谷美佳(教育専従)	牧谷
	看護を語る-①②	①11月7日(木) ②11月13日(水) 1G:9:00~11:15 2G:13:00~15:15 総合臨床研修センターセミナー室	67	看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感し、専門職者としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分が嬉しかった事例や上手くいったと感じた看護体験の振り返りが出来る 2.他参加者の看護体験を共有できる 3.看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感できる 4.看護専門職としての姿勢や態度についての自分の課題を考えられる	発表会	【語り】自分の看護を語る「心に残る患者(看護)」 ①11/7 支援者:肱岡奈津子(C6看護師長・教育委員)、溜ひとみ(B7教育委員) 福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②11/13 支援者:猪山真由美(入院支援室看護師長・教育委員)、福永文俊(A9教育委員) 奥加奈・牧谷美佳(教育専従) 【講義】「ポートフォリオについて」 講師:牧谷美佳(教育専従)	11/7肱岡・溜 11/13猪山・福永	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
新人	看護実践プロセス I -①②	①12月5日(木) <新卒>9:00~12:35 <既卒>9:30~12:35 総合臨床研修センターセミナー室 ②12月19日(木) 1G: <新卒>8:15~11:50 <既卒>8:45~11:50 2G: <新卒>12:40~16:15 <既卒>13:10~16:15 総合臨床研修センターセミナー室	65	自己の看護実践における問題点を明確にし、看護師・助産師としての役割を考える	1.看護の役割を理解する 2.自己の看護観について考えることができる 3.看護実践プロセス(個別性のある看護)を理解し表現できる	講義・演習	【小テスト】「フィジカルアセスメント」 【講義】「看護の視点と看護観」(②は録画) 【講義】「看護過程について」 【演習】 ・事前に配布した事例の看護上の問題点・アセスメント・看護計画を立て、看護の視点や看護観を考える ・自己の事例で看護計画を振り返り個別的な看護計画について考える インストラクター: ①12/5: 鈴木真由美(C5教育委員)、奥加奈・牧谷美佳(教育専従) ②12/19: 大神貴子(NICU教育委員)、福島真紀・奥加奈(教育専従) 【講義】「次年度Go!!プロジェクト活動について」 講師: 奥加奈(教育専従)	牧谷 12/5鈴木 12/19大神
	捕講 看護実践プロセス I	12月24日(火) 9:00~11:10 A棟9階会議室	1					
	基礎研修14-①② 12誘導心電図	①1月29日(水) ②1月30日(木) 1G: 10:10~12:10 2G: 14:00~16:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室 保健学科3階 シミュレーション室	64	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.心電図の波形について説明できる 2.危険な不整脈を発見した際の対応について説明できる 3.12誘導心電図の電極が正しく装着できる	講義・演習	①1/29 ②1/30(録画) 【講義】「12誘導心電図の基本」 【演習】12誘導心電図 インストラクター: ①1/29: 有川理恵(C4教育委員)、小篠美奈(救急部教育委員)、 戸島典佳(A8部署教育ナース)、福島真紀・牧谷美佳(教育専従) ②1/30: 佐藤香穂里(B8教育委員)、榮詩帆(2~4階外来教育委員) 吉松胡美(元B5部署教育ナース)、富田瑛留茄(B6助産師)、牧谷美佳(教育専従)	牧谷 1/29有川・小篠 1/30佐田・榮
	基礎研修14捕講 12誘導心電図	3月10日(月) 15:00~16:10 A棟9階キャリアアップ研修室	2					
2023年度採用者(卒後2年目)	2年目研修 フィジカルアセスメントフォローアップ	5月15日(水) 1G: 9:00~11:30 2G: 13:00~15:30 共通教育棟 503講義室	71	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.フィジカルアセスメントに関する知識を高めることができる 2.患者状態の変化を早期発見でき、なぜそのような状態になっているかをアセスメントできる 3.アセスメントに必要な情報を意図的に収集することができる 4.事例の情報を案連づけてアセスメントを行い、一時評価をしてISBARCで報告できる 5.状態を悪化させない行動・ケアを行う事ができる	講義・演習	【講義】「フィジカルアセスメント」 【演習】事例を用いて、一次評価・アセスメント・ISBARCでの報告 講師: 山下 浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター: 牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	福島 奥
	2年目研修(捕講) フィジカルアセスメントフォローアップ	8月7日(水) 14:30~16:00 総合研修センター演習室5	1					
	2年目研修 12誘導心電図	①6月12日(水) 12:30~14:00、14:30~16:00 ②6月13日(木) 9:00~10:30、11:00~12:30 総合臨床研修センターセミナー室	68					
	2年目研修 看護実践プロセス I フォローアップ	6月3日(月) ①9:00~11:00 ②13:00~15:00 6月17日(月) 9:00~11:00 総合臨床研修センターセミナー室	69	看護過程の展開における自己の課題を明確にし、看護実践を考える	1.自己の看護実践を振り返ることができる 2.様々な気付きや知識、経験を共有し、事例を深く理解することができる	講義・演習	【講義】看護実践プロセス I の「看護過程」の復習 【演習】「自己の担当患者の看護過程のリフレクション」(グループワーク) インストラクター: 潤ひとみ(B7教育委員) 牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	奥 6/3潤
2年目研修 看護倫理 I	①7月23日(火) ②7月31日(水) 9:00~12:15 鶴陵会館中・小ホール	62	看護者が守るべき倫理を理解し、倫理的問題解決に向けた取り組みが実践できる	1.看護者が守るべき倫理について説明できる 2.自己の看護について、看護倫理の観点から振り返ることができる。 3.臨床現場における倫理的問題解決に向けた取り組みについて具体的に考える。	講義・演習	【講義】「看護倫理」 【演習】「看護倫理に関する事例検討」(グループワーク) インストラクター: 高見利恵(C2看護師長)、永田亜紀(緩和ケア看護師長) 奥加奈(教育専従)	奥 7/23高見 7/31永田	
	2年目研修(捕講) 看護倫理 I	10月15日(火)9:00~11:10 A棟9階キャリアアップ研修室	8					
	2年目研修 人工呼吸器管理-①②	①8月8日(木) ②8月28日(水) 12:30~16:15 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	63	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器装着患者の看護について理解できる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義・演習	【講義】「人工呼吸器の基礎」 【講義】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 【演習】「人工呼吸器操作」 インストラクター: ①8/8: 中島高博・徳田秀仁・濱洲穂積(臨床工学技士) ②8/28: 中島高博・徳田秀仁・福元栄一郎(臨床工学技士) 【講義・演習】「人工呼吸器関連のインシデント・カニューレーに関するインシデントについて」 講師: ①8/8: 奥 加奈(教育専従) ②8/28: 奥加奈・牧谷美佳(教育専従)	奥 8/8 市川 8/28 大神
2年目研修(捕講) 人工呼吸器管理-①②	2月17日(月) 12:45~16:00 A棟9階キャリアアップ研修室 総合臨床研修センター演習室3・4	5	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器装着患者の看護について理解できる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義・演習	【講義】「人工呼吸器の基礎」 【講義】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 【演習】「人工呼吸器操作」 インストラクター: 中島高博(臨床工学技士) 【講義・演習】「人工呼吸器関連のインシデント・カニューレーに関するインシデントについて」 講師: 市川善実(特定看護師・ICU教育委員)	奥	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
2023年度採用者(卒後2年目)	2年目研修 エンゼルケア-①②	①11月19日(火) ②11月26日(火) 1G:8:40~11:45 2G:13:10~16:15 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	69	医療人として必要なエンゼルケアの知識・技術を学び、看取りの看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.エンゼルケア・看取りの看護について基本的な知識・技術を習得できる。 2.エンゼルケアについて、看護師の役割・態度について考える事ができる。	講義・演習	【講義】「エンゼルケア」 講師:田畠真由美(緩和ケア認定看護師) 【講義】お見送りの看護 講師:奥加奈(教育専従) 【演習】モデル演習 グループワーク インストラクター: ①11/19:山元ゆかり(B3教育委員)、市川善実(ICU教育委員) 白木三菜(B2がん看護リンクナース)、福島真紀・奥加奈(教育専従) ②11/26:小篠美奈(救急部教育委員)、岩坪笑(B5教育委員) 磨井大和(C4がん看護リンクナース)、牧谷美佳・奥加奈(教育専従)	奥 11/19山元・市川 11/26小篠・岩坪
	2年目研修 看護を語る-①②	①2025年1月24日(金) 9:10~11:00 A棟6階第一会議室 ②2025年2月6日(木) 1G:9:10~11:00 2G:13:10~15:00 総合臨床研修センターセミナー室	70	専門職としての自覚や責任ある行動がとれる	1.看護のやりがいや奥深さを感じた看護実践の振り返りができる。 2.他参加者との看護体験の共有を通して、自分の看護について考える事ができる。 3.2年目看護専門職としての姿勢や態度についての自己の課題を考える	講義・演習	【語り】「心に残る看護」 ・2年目となり、患者への看護実践のなかで気づいた思いや考え、大事なことについて ・グループメンバーと語られた看護のテーマについてディスカッション インストラクター:①1/24:出口明美(3階外来師長・教育委員) ②2/6:永田亜紀(緩和ケアセンター師長・教育委員) ①②:牧谷美佳・福島真紀・奥加奈(教育専従)	奥 1/24出口 2/6永田
	2年目研修 地域施設見学事前学習研修	①2025年2月26日(水) ②2023年3月4日(火) 13:00~16:30 A棟6階 第一会議室	65	障害を持って地域や在宅で暮らす患者・家族への看護介入が分かる。 地域の患者サービス利用者を取り巻く地域保活ケア体制や多職種協働を理解する。	1.地域における社会資源に関する知識を得て、地域医療に関して説明することができる。 2.グループワークを通して、不足している社会資源の情報を集約できる。 3.事例検討を通して、社会資源の活用について考えることができる。 4.自身の地域施設見学および病棟における退院支援やプライマリー患者に対する支援をイメージすることができる。	講義・演習	【講義】「鹿児島医療人育成プランについて」 講師:川内美千代(教育担当副看護部長) 【講義】「当院における退院支援のあり方」 講師:上野かおり(地域医療連携センター退院支援専従 副看護師長) 【演習】グループで事例演習 インストラクター:2/26:柴詩帆(2階外来教育委員)、奥加奈(教育専従) 3/4:福島真紀・奥加奈(教育専従)	奥 2/26 榮
2022年度採用者(3年目)	フィジカルアセスメント・ベーシック	7月30日(火) 1G:9:00~11:50 2G:13:10~16:00 鶴陵会館 中・小ホール	42	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.事例(患者)の変化を予測した意図的な情報収集ができ、先の変化を予測することができる。 2.事例のアセスメントをISBARCで報告できる 3.全身状態のフィジカルアセスメントを行い、RRSの状態にならない、急変させないための一歩前の必要な看護ケアを考えることができる	講義・演習	【講義】「急変時の病態と血液ガス分析」 講師:福元幸志(看護師特定行為研修センター) 【演習】グループで事例演習 インストラクター:福元幸志・平郡和弥(特定行為研修センター)、小篠美奈(救急部教育委員)、有川理恵(C4教育委員)、奥加奈(教育専従)	小篠・有川
	看護実践プロセスⅡ	8月26日(月) 講義8:30~10:15 演習1G:10:25~12:30 2G:13:55~16:00 共通教育棟 501講義室	40	看護過程の展開を理解し、個別性・継続性に配慮した看護を実践できる	1.看護実践プロセス(看護過程)の展開方法を理解できる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.個別性・継続性に配慮した看護について考えることができる 4.チームメンバーの一員、プライマリーナースとしての役割について考えることができる	講義・演習	【講義】「看護過程概論」 講師:山口さおり(医学部保健学科基幹看護学講座助教) 【講義】「肺がん患者の看護」 講師:岩坪笑(がん性疼痛看護認定看護師) 【演習・グループワーク】「看護過程」 インストラクター:岩坪笑(B5教育委員)、牧谷美佳・奥加奈(教育専従)	奥
	看護実践プロセスⅡ(補講)	12月4日(水) 8:35~12:00 A棟9階キャリアアップ研修室	3				【講義(録画)】「看護過程概論」 講師:山口さおり(医学部保健学科基幹看護学講座助教) 【講義(録画)】「肺がん患者の看護」 講師:岩坪笑(がん性疼痛看護認定看護師) 【演習・グループワーク】「看護過程」 インストラクター:奥加奈(教育専従)	奥
看護実践	医療器材管理研修	①10月22日(火) 13:40~15:00 総合臨床研修センターセミナー室 ②10月24日(木) 13:40~15:00 第4講義室 実地研修:9月~10月のいずれかの日の1時間(14:00~15:00または15:10~16:10)	48	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義・演習	【講義】「洗浄・消毒・滅菌について」 講師:平林幸恵(医療器材管理部看護師長) 【演習】医療器材部の実地研修 講師:平林幸恵(医療器材管理部看護師長)	奥
	地域施設見学報告会 2020年度入職看護師・助産師(5年目) 2021年度入職看護師・助産師(4年目)	2024年5月30日(木)・31日(金) 7:00~18:15 第4講義	発表者15 参加者のべ163	障害を残し、地域・在宅で暮らす患者・家族の看護・介護の状況を理解する。地域の患者・サービス利用者をとりまく地域包括ケア体制や他職種協働を理解する。地域施設見学研修による体験の知を共有できる。	1.患者を取り巻く環境と今の健康状態を理解する 2.患者が受けている医療・介護サービス内容を理解する 3.他職種が患者にどのように関わっているかを理解する 4.自分が支援した退院指導や生活指導がどのようにシームレスケアにつながったかを理解する 5.家族や地域で患者を支えているものを理解する 6.自らが鹿児島県の医療を担う一人であることを自覚する	発表会	【発表】2020年度(5年目)・2021年度(4年目)入職の看護師・助産師	川内 田中 5/30塗木 5/31米丸
	地域施設見学報告会 2022年度入職看護師・助産師(3年目) 2021年度入職看護師・助産師(4年目)	2025年2月10日(月)・12日(水)・13日(木)・14日(金) 7:00~18:15 第1講義室	発表者32 参加者のべ329	障害を残し、地域・在宅で暮らす患者・家族の看護・介護の状況を理解する。地域の患者・サービス利用者をとりまく地域包括ケア体制や他職種協働を理解する。地域施設見学研修による体験の知を共有できる。	1.患者を取り巻く環境と今の健康状態を理解する 2.患者が受けている医療・介護サービス内容を理解する 3.他職種が患者にどのように関わっているかを理解する 4.自分が支援した退院指導や生活指導がどのようにシームレスケアにつながったかを理解する 5.家族や地域で患者を支えているものを理解する 6.自らが鹿児島県の医療を担う一人であることを自覚する	発表会	【発表】2022年度(3年目)・2021年度(4年目)入職の看護師・助産師	川内 田中 高見 出口 永田 鎌賀
	看護実践プロセスⅢ	8月7日 13:00~16:15 総合臨床研修センターセミナー室	14	PONRに基づいた看護記録を実施し、部署看護師を対象に看護記録の質向上に向けた指導ができる	1.実施している看護が看護記録に反映されているか、記録内容が妥当か評価できる 2.看護実践プロセス(看護過程)の展開を踏まえ、患者と看護実践が見える記録を目指した指導の視点が理解できる	講義・演習	【講義】「看護実践がみえる看護記録」 1.看護記録の意義と専門職が書く記録 2.看護過程に沿った看護記録の指導 3.記録監査の現状と課題 【演習・グループワーク】事例を用いた監査・評価・指導の実際 インストラクター:福永文俊(リハビリ病棟教育委員)、松元理恵(C5記録検討監査委員)、福島真紀(教育専従)	福永 福島
	BLSフォローアップ①②	①7月18日(木) 13:00~14:30 ②11月6日(水) 13:00~14:30 総合臨床研修センターセミナー室	①23 ②28	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.正しい胸骨圧迫が出来る 2.バック・バルブマスクを用いて、換気が出来る 3.AEDが使用できる	演習	【演習】 ①7/18 講師・インストラクター:柳田壮馬(C5災害支援ナース)、 インストラクター:岩下詩(救急部災害支援ナース)、奥加奈・福島真紀(教育専従) ②11/6 講師・インストラクター:茅野成美(C4災害支援ナース)、 インストラクター:川床修平(3階外来災害支援ナース)、和田麗・福島真紀(教育専従)	福島 奥

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
看護実践	急変時シミュレーション	6月～2025年2月 各部署にて研修	22部署 のべ39回 のべ325名参加	患者の急変時における個人およびチームの迅速かつ適切な対応についてシミュレーションし、安心・安全な看護を提供する能力を養う	1.部署における患者急変時の各看護師の役割と働き方を理解する 2.患者の観察要点を学ぶ	演習	【事前学習】リソースナースを活用した学習会・BLS・SBAR 【演習】部署毎のシミュレーション 【振り返り】急変DVD視聴後の意見交換 イストラクター:各部署担当の専門・特定・認定看護師	教育委員会 部署教育ナース
ラダー別	臨床指導者研修	5月22日(水) 9:00～12:30 総合臨床研修センターセミナー室	23	臨床指導者としての役割を理解し、学生指導が実践できる	1.臨地実習の意義を説明できる 2.臨床指導者の役割を説明できる 3.自己の実習指導を振り返り、課題に対する具体的な解決方法を列挙できる	講義・演習	【講義】「これからの看護界と共に背負って立つ仲間を育てるために」 講師:清水佐智子(鹿児島大学保健学科基幹看護講座 准教) 【演習】「臨床実習指導で後輩を育てよう！」 支援者:福島真紀・和田麗(教育専従)	福島
	プリセプターフォローアップ研修 I ①②	①6月24日(月) 1G:9:00～11:00 ②6月26日(水) 2G:9:00～11:00 3G:13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	42	プリセプター(実地指導者)としての役割を再認識し、新人看護職員に対する精神的支援について具体的な方法、課題を共有できる	1.プリセプターの役割を再認識できる 2.新人看護職員の現場への適応状況を把握し、新人看護職員へ対する精神的な支援について具体的な方法、課題を共有し、今後の関わりを考えることができる	講義・演習	【講義】「7～9月の新人指導について」 講師:6/24豊田紀子(C3教育委員) 6/26山元ゆかり(B3教育員) 【講義】(学研e-ラーニング)「あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう～アリテイシヨクを和らげるためのヒント～」内藤知佐子 【演習】「新人看護職員の精神的支援について」グループワーク 支援者:福島真紀(教育専従) 6/24豊田紀子(C3教育委員) 6/26山元ゆかり(B3教育委員)	福島 豊田 山元
	プリセプターフォローアップ研修 II ①②	①9月2日(月) 1G:9:30～11:30 ②9月9日(月) 2G:9:30～11:30 3G:13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	43	新人看護職員の現場への適応状況を把握し、プリセプターの役割を再認識できる	1.新人看護職員の現場への適応状況を把握し、プリセプターの役割を再認識できる 2.新人看護職員の取り巻く環境を把握し、今後どのような支援が望ましいか考えることができる	講義・演習	【講義】「9月以降の新人への関わり」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義】「新人看護職員がプリセプターに求める支援」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】「新人看護職員が求める支援について考える」ロールプレイ 支援者:9/2溜 ひとみ(B7教育委員) IX 鈴木真由美(C5教育委員) 福島真紀(教育専従)	田中 溜 鈴木
	プリセプター育成研修	①2025年3月10日(水) 1G:13:00～15:00 ②2025年3月17日(月) 2G:9:00～11:00 3G:13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	43	プリセプターの役割を理解できる	1.プリセプターの役割について説明できる 2.当院の新人育成プランを説明できる 3.プリセプターの役割を担うことへの不安や期待を受講生と共有できる	講義・演習	【講義】「プリセプターに期待すること」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義】「プリセプターの役割」 講師:市川善実(元ICU教育委員) 【演習】「目標を立て、なりたいプリセプターになろう！」グループワーク 支援者:市川善実(元ICU教育委員)、福島真紀(教育専従)	福島 市川
	プリセプター育成研修(補講)	2025年3月28日(金) A棟9階キャリアアップ研修室	43	プリセプターの役割を理解できる	1.プリセプターの役割について説明できる 2.当院の新人育成プランを説明できる 3.プリセプターの役割を担うことへの不安や期待を受講生と共有できる	講義・演習	【講義】(録画)「プリセプターに期待すること」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義】(録画)「プリセプターの役割」 講師:市川善実(元ICU教育委員) 【演習】「目標を立て、なりたいプリセプターになろう！」グループワーク 支援者:市川善実(元ICU教育委員)、福島真紀(教育専従)	福島
	勤務帯リーダー研修①	7月10日(水) 12:40～16:30 総合臨床研修センターセミナー室	11	チーム医療の中でリーダーシップを発揮し、安全で質の高い看護サービスを提供できる	1.リーダーシップとマネジメントについて説明できる 2.勤務帯リーダーの役割について説明できる 3.勤務帯リーダーを担うにあたっての自己の課題に気づくことができる	講義 演習	【講義】「リーダー概論」 講師:東祐子(B2教看護師長) 【講義】「勤務帯リーダーの実際」 講師:奥加奈(教育専従) 【演習】「リーダーに求められる判断力」 支援者:東祐子(B2教育委員)、田中久美子(教育専従)	田中 東
	勤務帯リーダー研修②	②2025年1月27日(月) 12:40～16:30 総合臨床研修センターセミナー室	14	リーダーシップ	1.リーダーシップについて説明できる 2.よりよいチーム活動のための、効果的なリーダーシップについて考えることができる 3.リーダーシップを発揮するための自身の課題を認識できる	講義 演習	【講義】「リーダー概論」 講師:塗木さおり(A8看護師長) 【講義】「勤務帯リーダーの実際」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】「リーダーに求められる判断力」 支援者:塗木さおり(A8看護師長)、田中久美子(教育専従)	田中 塗木
	リーダーシップ	8月27日(火) 12:50～16:00 鶴陵会館 中ホール	24	日常生活活動の中で、医療チームの一員として適切なリーダーシップを発揮し、よりよいチームができるよう、資質向上を図る	1.リーダーシップについて説明できる 2.よりよいチーム活動のための、効果的なリーダーシップについて考えることができる 3.リーダーシップを発揮するための自身の課題を認識できる		【講義】「リーダーシップについて」 【演習】「自己的役割遂行のための効果的なリーダーシップを考える」 講師:有倉巳幸(鹿児島大学教育学部大学院教育研究科 教授) 演習助手:小篠美奈(救急部教育委員)、田中久美子(教育専従)	田中 小篠
人材育成	部署教育ナース育成研修	2025年3月21日(金) 9:00～11:50 総合臨床研修センター演習室1・2	17	部署における部署教育ナースとしての役割を果たすことが出来る	1.新人看護職員卒後研修及び当院の教育体制を理解できる 2.部署教育ナースとしての役割を理解できる 3.効果的な部署OJTを行うための関わり方を考えることが出来る	講義・演習	【講義】「当院看護部の教育体制と教育プログラム」 講師:田中久美子(教育専従看護師長) 【講義】「部署教育ナースの役割について」 講師:奥加奈(教育専従) 【講義・演習】「これからのコーチングについて」 支援者:奥加奈(教育専従)	福島 高見
	教育講演	2024年7月24日(水) 17:00～18:10 第4講義室	103	人を育てるということについて、理解を深めることができる	1.教育の基礎について学ぶことができる 2.「教える者」としての自己の課題について考えることができる 3.「教える者」としての自己の役割について考えることができる	講義	【講義】「人を教えるということ、育てるということ」 講師:大山もと子(医療法人協会立看護専門学校校長補佐)	田中

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
人材育成	地域看護コース I・II・III・IV	I : 5月27日 9:00~12:20 II : 7月22日 9:00~12:00 III : 8月19日~9月6日の間の一日 IV : 12月23日 9:00~12:15 I : 総合臨床研修センターセミナー室 II : 鶴陵会館中ホール III : 地域医療連携センター IV : 総合臨床研修センターセミナー室	14	地域への貢献を主体的に果たすことができる	1.患者を全人の視点で捉え、住み慣れた生活環境でその人らしく生活できるための看護を提供できる 2.患者の視点に立ち、シームレスに看護ケアを実践できる 3.退院困難な患者に社会的資源を活用して、退院調整ができる 4.鹿児島県の超高齢化社会を見据え、地域ケア体制を支援できる	講義・演習	I : 【講義】「地域看護コースについて」 講師:川内美千代(看護部教育担当副看護部長) 【講義】「地域連携センターの概要と活動」 講師:道園久美子(地域医療連携センター副センター長) 【講義】「社会資源を活用した退院支援について」 講師:大浦飛鳥MSW(地域医療連携センター) 【講義】「退院支援に関する当院の取り組みについて」 講師:田代由美子(地域医療連携センター看護師長) II : 【退院支援事例報告】 講師:佐々木美和(地域医療連携センター退院支援専門看護師) 【演習】「効率的な退院支援をするための情報収集」 「退院支援をするための課題と対策」 ファシリテーター: 佐々木美和・寺脇秀美(地域医療連携センター) 鈴木真由美(C5教育委員)、田中久美子(教育専門) III : 【地域医療連携センター実務研修】 IV : 【講義】「鹿児島県の特性を踏まえた退院支援について」 講師:上野 友紀(地域医療連携センター退院支援専門看護師) 【講義】「離島・へき地の医療や生活状況を踏まえた在宅医療支援の困難事例」 講師:戸崎 緑(B6) 【演習】退院困難な患者を在宅に移行するための退院支援(地域診断・事例検討) 支援者:事例提供者:戸崎 緑(B6) 朝倉 弥生(C7教育委員) 田中 久美子(教育専門) 【講義】「地域看護コース受講後の取り組みについて」 講師:川内美千代(看護部教育担当副看護部長)	田中 鈴木 朝倉
管理	看護管理者研修 副看護師長 コンピテンシーモデル研修	11月21日(木) 1G)9:00~12:00 2G)13:30~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	70	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。	1.コンピテンシーの概念を再確認し、コンピテンシー評価について理解を深める 2.コンピテンシー評価を活用し、自己の管理能力を開発するための行動目標を言語化できる	講義・演習	【講義】「看護管理者に求められるコンピテンシー評価の基本」 講師:川内美千代(教育担当副看護部長) 【演習】「事例を通じたグループフレクション」 支援者:宮園幸江(看護部長) 今川真由美・新駿河洋子・栗井英子・福島悦子・福田ゆかり・川内美千代(副看護部長) 東祐子・高見利恵・田中久美子(看護部長)	教育副部長 川内
	経営 I	7月19日(金)17:30~18:30 第4講義室	62	病院の経営に対する意識改革を図り、看護師の果たすべき役割について認識を高める	1.病院の経営目標について説明できる 2.病床管理について説明できる 3.病院の経営に対し、看護師が果たすべき役割について説明できる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病院経営への取り組み」 講師:岩穴口孝(医療情報部講師) 「病床管理(基礎編)～病床の効率的運用に対する看護部の取り組み」 講師:新駿河洋子(看護部経営担当副看護部長)	経営副部長 新駿河 教育専門 田中
	経営 II	12月2日(月)17:30~18:30 A棟6階第1会議室	84	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について説明できる 2.病床管理について説明できる 3.病院の経営に対し、リーダー層が果たすべき役割について課題を見いだすことができる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病床管理(実践編)～部署経営の取り組み」 講師:田代由美子(地域医療連携センター長) 講師:栗木聖子(C7看護部長) 講師:山田優子(C3看護部長)	経営副部長 新駿河 教育専門 田中
	経営 III	12月16日(月)17:30~18:30 A棟6階第1会議室	90	病院経営に対する意識改革を図り、経営改善に向けた看護管理が実践できる	1.病院経営の戦略について理解できる 2.病床経営に対する看護管理者に必要な経営意識と役割について示唆を得ることができる 3.研修での学びを看護管理で実践できる	講義	【講義】「施設」から「地域」へ、地域包括ケアシステム時代の看護-看護情報連携」 講師:宇都由美子(株式会社かごしま医療ITセンター 代表取締役)	田中
研究	看護研究研修 I	6月19日(木) 17:15~18:15 共有教育棟 インテリジェント室	38	看護研究の基本的な知識を得て、看護研究に取り組むことができる	1.看護研究を行うために必要な基本的事項について理解できる 2.私の疑問から根拠のある研究目的設定までのプロセスや研究の展開方法を習得する 3.研修での学びを研究活動に活かすことができる	講義 演習	【講義・演習】「文献検索完全マスター実践編」 講師:児玉慎平(保健学科看護学専攻地域包括看護学准教授)	田中
	看護研究研修 II	7月16日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館 中ホール	33			講義 演習	【講義・演習】「リサーチクエスチョンの設定と研究計画書の書き方」 講師:古島大資(保健学科看護学専攻地域包括看護学准教授)	田中
	看護研究研修 III	8月27日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館 中ホール	29			講義 演習	【講義・演習】「研究方法①～質的研究～」 講師:清水佐智子(保健学科看護学専攻基幹看護学講座准教授)	田中
	看護研究研修 IV	9月24日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館中ホール	23			講義 演習	【講義・演習】「研究方法②～量的研究～」 講師:若松美貴代(保健学科看護学専攻成育看護学講座准教授)	田中
	院内看護研究発表会	11月62日(土) 9:00~12:15 鶴陵会館 大ホール	201	看護研究を通じて看護の探求心を養い、看護活動に役立てることができる		発表	【発表】B2、B5、.NICU、B7、B8、C4、C5、C6、救急部、医科外来、専門・認定・特定看護師会	田中
	院内看護研究発表会 録画オンデマンド配信	11月16日(土)~2025年1月5日(日) THINK上でのオンデマンド視聴	18	看護研究を通じて看護の探求心を養い、看護活動に役立てることができる		発表	【発表】B2、B5、.NICU、B7、B8、C4、C5、C6、救急部、医科外来、専門・認定・特定看護師会	田中
講演	教育講演 鹿児島大学医学部保健学科・鹿児島大学病院看護部合同会	10月24日(木) 17:00~18:30 鶴陵会館 大ホール	91			講義	【講義】「これからの看護を考える～看護の可能性と看護観～」 講師:富本恵美(文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室専門官)	看護部・ 保健学科看護学 専攻
看護助手	看護助手研修 I -①② 「標準予防策と5S」 「医療器材管理」	①6月7日(金) 1G: 10:00~11:00(ナースクラーク) 10:00~12:00 2G: 13:00~14:00(ナースクラーク) 13:00~15:00 ②6月10日(月) 3G: 10:00~11:00(ナースクラーク) 14:00~15:00 総合臨床研修センターセミナー室	75	看護チームの一員として自己の役割を自覚とともに患者サービスに活かせる基礎的知識・技術を習得できる	1.感染予防に必要な知識を習得することができる 2.手指衛生の重要性や防護用具の適切な使用について確認できる 3.医療器材管理上に必要な知識を過億できる 4.医療器材管理上のルールが理解できる	講義 演習	【講義】「標準予防策と5Sについて」 【演習】「手指衛生と個人防護具の着脱」 講師:有村尚子(感染制御部門感染管理認定看護師) 【講義】「医療器材管理」 講師:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長)	福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
看護助手	看護助手研修Ⅰ(補講) 「標準予防策と5S」 「医療器材管理」	7月10日(水) 10:00~12:00 A棟9階キャリアアップ研修室	2	看護チームの一員として自己の役割を自覚するとともに患者サービスに活かせる基礎的知識・技術を習得できる	1.感染予防に必要な知識を習得することができる 2.手指衛生の重要性や防護用具の適切な使用について確認できる 3.医療器材管理上に必要な知識を過億できる 4.医療器材管理上のルールが理解できる	講義 演習	【講義(録画)】「標準予防策と5Sについて」 講師:有村尚子(感染制御部門感染管理認定看護師) 【演習】手指衛生と個人防護具の着脱 インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「医療器材管理」 講師:平林幸恵(医療器材管理部 看護師長)	福島
	看護助手研修Ⅱ-①② 「接遇・移動（歩行・車いす・床上移動/体位調整）」	①8月30日(金) 1G: 9:30~10:40(ナースクラーク) 9:30~11:30 2G: 13:00~14:10(ナースクラーク) 13:00~15:00 ②9月4日(水) 3G: 9:30~10:40(ナースクラーク) 9:30~11:30 4G: 13:00~14:10(ナースクラーク) 13:00~15:00 保健学科4階 基礎・成人看護学実習室	75		1.自分の行動を振り返り、接遇について考えることができる 2.安心・安全・安楽な歩行介助・車いすの使用方法が分かる。 3.安心・安全・安楽な体位調整の方法が分かる 4.安心安全安楽な床上移動の方法が分かる	講義 演習	【講義】「接遇について」 講師:福島悦子(看護部安全管理・質担当副看護部長) 【演習】「接遇についての振り返り」 【講義:学研ナーシング】「移動のお世話」 講師:重田泰子(学研ナーシング 日本赤十字医療センター看護部看護師長) 【演習】「体位調整・床上移動」 インストラクター 8/30: 山元ゆかり(B3教育委員) 牧谷美佳・福島真紀(教育専従) 9/4: 迫田香穂理(B8教育委員) 奥加奈・福島真紀(教育専従)	福島 山元 迫田
	看護助手研修Ⅱ(補講) 「接遇・移動（歩行・車いす・床上移動/体位調整）」	2025年2月5日(水) A棟9階キャリアアップ研修室	1		1.自分の行動を振り返り、接遇について考えることができる 2.安心・安全・安楽な歩行介助・車いすの使用方法が分かる。 3.安心・安全・安楽な体位調整の方法が分かる 4.安心安全安楽な床上移動の方法が分かる	講義 演習	【講義(録画)】「接遇について」 講師:福島悦子(看護部安全管理・質担当副看護部長) 【演習】「接遇についての振り返り」 【講義:学研ナーシング】「移動のお世話」 講師:重田泰子(学研ナーシング 日本赤十字医療センター看護部看護師長) 【演習】「体位調整・床上移動」 インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島
	看護助手研修Ⅲ-①② 「BLS・急変時の初期対応」	①10月17日(木) 1G: 9:30~11:30 2G: 13:00~15:00 ②10月18日(金) 3G: 9:30~11:30 総合臨床研修センターセミナー室	74		1.AEDを含む一次救命処置について学び、看護助手としての役割が分かる 2.急変時に速やかに応援を呼ぶ必要性が理解できる 3.1191コールのかけ方がわかる	講義 演習	【講義】「BLSと急変時の初期対応」 講師:10/17 鮫島大貴(ICU災害支援ナース) 10/18 松澤 薫(B3歳学支援ナース) 【演習】「応援・1191コール・BLS」 インストラクター:奥加奈・福島真紀(教育専従) 10/17岩坪笑(B5教育委員) 有川理恵(C4教育委員) 10/18朝倉弥生(C7教育委員) 水川桂子(RI・放射線部教育委員)	福島 奥 岩坪 有川 朝倉 水川
	看護助手研修Ⅲ(補講) 「BLS・急変時の初期対応」	2025年1月31日(金) 13:00~15:00 A棟9階キャリアアップ研修室	3		1.AEDを含む一次救命処置について学び、看護助手としての役割が分かる 2.急変時に速やかに応援を呼ぶ必要性が理解できる 3.1191コールのかけ方がわかる	講義 演習	【講義(録画)】「BLSと急変時の初期対応」 講師:鮫島大貴(ICU災害支援ナース) 【演習】「応援・1191コール・BLS」 インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島
	看護助手研修Ⅳ-①② 「医療制度・病棟の組織・看護補助業務・個人情報保護と守秘義務・倫理」	①12月11日(水) 1G: 13:00~14:50 ②12月20日(金) 2G: 9:30~11:20 3G: 13:30~14:50 総合臨床研修センター セミナー室	77		1.医療制度の概要及び病院組織について説明できる 2.看護補助者の業務を理解し、看護ケアについて重要な役割を担っていることについて説明できる 3.個人情報保護と守秘義務の重要性について説明できる 4.医療現場に求められる接遇、倫理観や倫理的に配慮した対応について考えることができる	講義	【講義】「医療制度の概要及病院の機能と組織について」 「医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について」 講師:今川真由美(業務管理副看護部長) 【講義】「医療チームの一員としての患者への対応、個人情報保護と守秘義務」 「倫理について」 講師:川内美千代(教育管理副看護部長) 【演習】「倫理に関するワーク」 インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島
	看護助手研修Ⅳ(補講) 「医療制度・病棟の組織・看護補助業務・個人情報保護と守秘義務・倫理」	2025年2月5日(水) A棟9階キャリアアップ研修室	2		1.医療制度の概要及び病院組織について説明できる 2.看護補助者の業務を理解し、看護ケアについて重要な役割を担っていることについて説明できる 3.個人情報保護と守秘義務の重要性について説明できる 4.医療現場に求められる接遇、倫理観や倫理的に配慮した対応について考えることができる	講義	【講義(録画)】「医療制度の概要及病院の機能と組織について」 「医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について」 講師:今川真由美(業務管理副看護部長) 【講義(録画)】「医療チームの一員としての患者への対応、個人情報保護と守秘義務」 「倫理について」 講師:川内美千代(教育管理副看護部長) 【演習】倫理に関するワーク インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

研修の主な内容	期間	回数	参加人数(人)	ME機器センター
エネルギーデバイスについて	2024年4月5日	1	6	看護師
Puritan Bennettカフ圧マネージャー	2024年4月16日	1	9	臨床工学技士
Thopaz +TM 説明会	2024年4月16日	1	31	看護師
クリップハンズオン勉強会	2024年4月18日	1	3	臨床工学技士
基礎研修「輸液ポンプ・シリンジポンプ」	2024年5月2日	1	70	看護師
IPVについて	2024年5月21日	1	8	臨床工学技士
TEG6s	2024年5月21日	1	14	臨床工学技士
新人看護師向け勉強会 - 内視鏡について	2024年5月23日	1	11	看護師
XQ-320	2024年5月31日～6月6日	2	31	看護師
NHFの原理、Airvo2の使用方法	2024年6月4日	1	0	看護師
耳鼻咽頭鏡取り扱い研修会	2024年6月5日	1	10	看護師
ペアハガーメンテナンス研修会	2024年6月12日	1	2	臨床工学技士
シングルバルーンコントロールユニット説明会	2024年6月13日	1	3	臨床工学技士
加温加湿器 F&P950勉強会	2024年6月17日	1	6	臨床工学技士
アルミノックスについて	2024年6月18日	1	0	臨床工学技士
人工肺について(メラFHPエクセラン)	2024年7月10日	1	11	臨床工学技士
小腸ダブルバルーン内視鏡システム研修会	2024年7月18日	1	7	臨床工学技士
人工肺 基礎研修	2024年8月6日	1	8	臨床工学技士
生体情報モニタ、システム等	2024年8月22日～9月2日	3	33	臨床工学技士、看護師
ネーザルハイフローの基本操作について	2024年8月23日	1	11	看護師
筋弛緩モニタについて	2024年9月2日	1	8	臨床工学技士
全身麻酔装置 Atlan A300	2024年9月5日～9月25日	2	16	臨床工学技士
I-STAT	2024年9月10日	1	24	看護師
SL One 説明会	2024年9月18日	1	10	臨床工学技士
ポータブル超音波画像診断装置	2024年9月24日～9月30日	2	14	臨床工学技士
ストライカ-4K1788	2024年10月18日	1	15	看護師
除細動器 使用方法について	2024年10月22日	1	9	看護師
保育器の点検方法について	2024年11月12日	1	11	臨床工学技士
輸液ポンプ気泡センサ部品交換について	2024年12月23日	1	22	臨床工学技士
アダカラム説明会	2024年12月24日	1	12	臨床工学技士
生体情報システム	2025年1月14日～1月20日	2	17	臨床工学技士
Coroflow	2025年1月22日	1	4	臨床工学技士
TE-362	2025年1月28日	1	11	臨床工学技士
ME機器の取り扱いについて	2025/01/29～04/18	4	32	看護師
内視鏡関連(けん引クリップ)	2025年1月30日	1	5	臨床工学技士
メラサキューム使用方法	2025年1月31日	1	12	看護師
Amplatzerの基本説明	2025年2月4日	1	5	臨床工学技士
Atlan A300	2025年2月12日	1	7	看護師
Hamilton MR-1	2025年2月12日	1	13	臨床工学技士
ESG-410	2025/02/12～03/13	3	20	臨床工学技士、看護師
人工呼吸器及びNHFの操作方法について	2025年2月17日	1	7	看護師
メラサキューム使用方法	2025年2月20日	1	34	臨床工学技士
メラサキューム使用方法	2025年2月20日	2	34	臨床工学技士
EN-SP50	2025年2月20日～3月13日	2	35	臨床工学技士
SONOPET取り扱い講習会	2025年2月26日～3月19日	3	18	看護師
バルーンインフレーターについて	2025年2月27日	1	4	臨床工学技士
IPテスター	2025年3月11日	1	16	臨床工学技士
DVT予防研修会	2025年3月13日	1	10	看護師
RFG3	2025年3月21日	1	14	看護師
ACH-Σ Plus	2025年3月21日～3月31日	1	11	臨床工学技士
人工肺製品説明	2025年3月24日	1	5	臨床工学技士
内視鏡勉強会	2025年3月27日	1	4	臨床工学技士
TEC-1000	2025年3月31日	1	3	臨床工学技士

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 石塚 賢治	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 薬剤部長 (寺薗 英之) 総務課長 (宮野 英彦)	医療情報部長 (大石 充) 医療技術部長代行 (弓場 裕之) 医務課長 (原之園 さつき)

診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	保管場所	管理方法
規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	診療記録は、2007年以降の外来及び入院分から電子カルテに保存・管理している。 (1) 紙媒体の診療記録（紹介状、同意書等）は、タイムスタンプ等の導入（2024年9月18日以降）により、原本が紙媒体から電子カルテに変更となつたため、スキャン後、一定期間保存したのち廃棄している。 (2) 画像データ（CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等）は、2013年からデジタル画像として院内サーバにて保存・管理している。 (3) 特別な場合（医療訴訟、公的機関からの要請等）を除き、院外への持ち出しへは厳禁としている。
	各科診療日誌	各センター、部門科	
	処方せん	薬剤部	
	手術記録	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	
	看護記録	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	
	検査所見記録	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	
病院の管理及び運営に関する諸記録	エックス線写真	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。 (2) 保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
	紹介状	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	・電子カルテ ・医療情報部診療情報 管理部門（カルテ保管庫）	
	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	高度の医療の研修の実績	総務課	(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。 (2) 保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課	

に規則 掲げる 第一項 の第一項 の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課	(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医務課	(2) 保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。

		保管場所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課 (1)病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医務課 (2)保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要な未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部
		医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療技術部

		保管場所	管理办法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課	(1)病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。 (2)保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部	
	医療安全管理部門の設置状況	医務課	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部	
	監査委員会の設置状況	総務課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
	職員研修の実施状況	総務課	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
	管理者が有する権限に関する状況	総務課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理办法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 石塚 賢治	
閲覧担当者氏名	総務課長 宮野 英彦	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要	閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医師 延 0 件
	歯科医師 延 0 件
	国 延 0 件
	地方公共団体 延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 安全管理に関する基本的考え方 III 組織に関する基本的事項 IV 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 V 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針 VI 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 VII 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 VIII 患者等からの相談への対応に関する基本方針 IX その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況 : 年 12 回 ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療の安全管理体制の確保に関すること。 (2) 医療に関する安全管理指針に関すること。 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。 (5) その他医療の安全管理等に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <ul style="list-style-type: none"> 医療安全研修①「外部機関からの医療安全情報」 医療安全研修②「患者誤認防止・個人情報漏洩防止」 医療安全研修③「医療安全管理・感染管理に関する自己チェックシート」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ 他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを隨時改訂した。 (2) 医療安全活動強化月間（6月・11月）を設定した。 (3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント(1)レベル0、1報告の推奨を行った。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(<input checked="" type="checkbox"/> 有)・(<input type="checkbox"/> 無)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <p>I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <p>院内感染対策研修①「標準予防策・感染経路別予防策」 院内感染対策研修②「新型コロナウイルス感染症類型の見直しをうけて」 院内感染対策研修③「新型コロナワクチンの重要性と今後の展望」 院内感染対策研修④「なぜ薬剤耐性菌対策・抗菌薬適正使用は必要なのか?」 院内感染対策研修⑤「結核」 院内感染対策研修⑥「抗菌薬適正使用を行なう上で押さえるべきポイント」</p> <p>※その他に清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有)・(<input type="checkbox"/> 無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> (1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者の入院時に部署から感染制御部に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告 (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出、感染制御部でとりまとめているサーベイランスレポートとともにカンファレンスで共有 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告 (5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <p>2024/4/3 研修歯科医採用者ガイド 2024/4/4 医科研修医ガイド 2024/4/8 新人看護職員基礎研修 2024/8/22 フォルテオ皮下注について (B3 病棟看護師) 2024/8/28 ベンリスタ皮下注 200mg オートインジェクターについて (B3 病棟) 2025/1/31～3/31 医薬品に係る安全管理のための研修会 (web 研修, 全職員対象)</p>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有・無) 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 医薬品の採用について 医薬品の購入について 調剤室における医薬品の管理について 病棟・各部門への医薬品の供給について 外来患者への医薬品使用について 病棟における医薬品の管理について 入院患者への医薬品使用について 医薬品情報の収集・管理・提供について 手術・麻酔部門について 救急部門・集中治療室について 輸血・細胞治療部門について 血液浄化部門について 臨床検査部門、画像診断部門について 外来化学療法部門について 歯科領域について 他施設との連携について 在宅患者への医薬品使用について 放射性医薬品について 院内製剤について 重大な有害事象の予防・対応について 事故発生時の対応について 教育・研修について 医薬品関連の情報システムの利用について 	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) (無)
・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

- (1) AMLに対するベネクレクスタ・アザシチジン併用療法 (適応外使用)
- (2) 小児デスマイド腫瘍に対するセレコキシブ (適応外使用)
- (3) 頭蓋内原発腺様囊胞癌に対するテモゾロミド (適応外使用)
- (4) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF lipid 20% (未承認医薬品)
- (5) I型インターフェロン異常症に対するオルミエント (適応外使用)
- (6) 前立腺小細胞癌に対するアムルビシン (適応外使用)
- (7) 血管肉腫 (縦隔腫瘍)に対するニボルマブ+イピリムマブ療法 (適応外使用)
- (8) 肺全摘後症候群に対する六フッ化硫黄 (適応外使用)
- (9) 転移性陰茎癌に対するTIP療法 (適応外使用)
- (10) 抗MDA5抗体陽性無筋症性皮膚筋炎に伴う間質性肺炎に対するリツキシマブ (適応外使用2件)
- (11) T-ALLに対するダサチニブ (適応外使用)
- (12) 抗糸球体基底膜病に対するエンドキサン (適応外使用)
- (13) 後腹膜脂肪肉腫に対するIE療法 (適応外使用)
- (14) 抗NF-155抗体陽性ノドパチーに対するリツキシマブBS (適応外使用)
- (15) 自己免疫性溶血性貧血に対するリツキシマブBS (適応外使用)
- (16) 切除不能再発小腸癌に対するFOLFIRI+ベバシズマブ療法 (適応外使用)
- (17) POEMS症候群に対するレナリドミド (適応外使用2件)
- (18) COVID-19感染後肺障害に対するプラケニル (適応外使用)
- (19) 再発・難治T細胞性リンパ性白血病に対するダラツムマブ (適応外使用)
- (20) COVID-19感染後肺障害に対するトランサミン (適応外使用)
- (21) 再発性悪性胸膜中皮腫に対するゲムシタビン (適応外使用)
- (22) 脳神経外科領域手術に対するスponゴスタン (適応外使用)
- (23) 副腎皮質癌に対するEDP-M療法 (適応外使用)
- (24) 腹膜悪性中皮腫に対するゲムシタビン (適応外使用)
- (25) 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)に対するシクロホスファミド (適応外使用)
- (26) 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)に対するシクロスボリン (適応外使用)
- (27) 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)に対するビンクリスチン (適応外使用)

- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全管理委員会に報告し、また、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内インターネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行っている。

医薬品の適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。

また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し審議する体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <p>(1) 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（2024年7月10日、12月10日） (2) 人工呼吸器研修会（2024年10月30日～11月29日、2025年2月7日～2月28日） (3) 血液浄化療法研修会（2024年5月20日、12月16日） (4) 除細動器研修会（2024年10月30日～11月29日、2025年2月7日～2月28日） (5) 閉鎖式保育器研修会（2024年7月9日、2025年3月3日～3月14日）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る計画の策定 (有・無) 機器ごとの保守点検の主な内容 : <p>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 (年 1 回) (2) 人工呼吸器 (年 1 回) (3) 血液浄化療法装置 (年 1 回) (4) 除細動器 (年 1 回) (5) 閉鎖式保育器 (年 1 回)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし その他の改善の方策の主な内容 : <p>(1) 全医療職員を対象とした講習会（2機種 年2回） <ol style="list-style-type: none"> 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年10月（除細動器） 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年10月（人工呼吸器） 医療機器に係る安全管理のための研修会 2025年2月（除細動器） 医療機器に係る安全管理のための研修会 2025年2月（人工呼吸器） (2) その他研修会 <ol style="list-style-type: none"> 2024年度採用初期臨床研修医ガイド 2024年4月 2024年度 新規採用者看護師研修（人工呼吸器） 2024年8月 2024年度 2年目看護師研修（輸液ポンプ・シリンジポンプ） 2024年5月 (3) 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知 <ol style="list-style-type: none"> 加温加湿器との併用による人工鼻の閉塞 人工呼吸器 人工呼吸器ファビアンNIVの自主回収について ドレーベル全身麻酔装置 Atlan「ベンチレータ不良」アラームの発生について 開放式の三方活栓の誤った取り扱い 永久気管孔のある患者への無効な換気 </p>	
① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <p>(1) 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（2023年8月3日、9月28日、10月25日） (2) 人工呼吸器研修会（2023年11月8日～11月30日、2024年2月28日～3月22日） (3) 血液浄化療法研修会（2023年6月23日 2023年12月25日） (4) 除細動器研修会（2023年11月8日～11月30日、2024年2月28日～3月22日）</p>	

(5) 閉鎖式保育器研修会（2023年6月27日～7月21日、2024年2月28日～3月22日）

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：
 - (1) 人工心肺装置及び補助循環装置 (年 1 回)
 - (2) 人工呼吸器 (年 1 回)
 - (3) 血液浄化療法装置 (年 1 回)
 - (4) 除細動器 (年 1 回)
 - (5) 閉鎖式保育器 (年 1 回)

③ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他
の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : なし
- ・ その他の改善の方策の主な内容：
 - (1) 全医療職員を対象とした講習会 (2機種 年2回)
 - 1) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年11月 (除細動器)
 - 2) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年11月 (人工呼吸器)
 - 3) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年3月 (除細動器)
 - 4) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年3月 (人工呼吸器)
 - (2) その他研修会
 - 1) 2023年度採用初期臨床研修医ガイド 2023年4月
 - 2) 2023年度 2年目看護師研修 (人工呼吸器) 2023年8月
 - (3) 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知
 - 1) 消化器内視鏡等の洗浄・消毒における 注意点について
 - 2) 離床センサーの電源入れ忘れ
 - 3) MRI検査室への磁性体 (金属製品など) の持ち込み (第3報)
 - 4) 腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷
 - 5) シリンジポンプの単位の選択間違い
 - 6) 気管切開チューブの取扱い時の 注意について (その2)
 - 7) 人工呼吸器の吸気側と呼気側の 回路接続間違い
 - 8) ACE阻害薬服用患者に禁忌の 血液浄化器の使用
 - 9) 別の患者の眼内レンズの挿入

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・責任者の資格（医師・歯科医師）・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況	医療に関する安全管理のための指針を令和元年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に副病院長（安全管理・感染対策担当）を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理者を統括させることとしている。
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (11名) · <input type="checkbox"/> 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況	医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DIニュースとして発行している。また1ヶ月の周知状況を医療安全管理委員会に報告し、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。 緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。（直近では令和3年6月にジョイクル関節注30mgによるショック、アナフィラキシーについてのブルーレターが発出されている） 医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて主治医等へ情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。
<ul style="list-style-type: none">・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況	医薬品の適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。 また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し審議する体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。
<ul style="list-style-type: none">・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無）・担当者の所属・職種：	
<p>（所属：薬剤部、職種 薬剤部長）</p>	<p>（所属：薬剤部、職種 副薬剤部長）</p>

(所属：薬剤部、職種 医薬品情報主任) (所属：薬剤部、職種 病棟薬剤業務管理主任)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・無)	
・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：	
診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載マニュアル」に提示している。診療記録の記載内容については、同委員会で作成した「診療記録監査マニュアル」に基づき、医療情報部診療情報管理部門で量的監査を定期的に実施している。また、診療情報管理ワーキンググループにおいて、多職種での質的監査も実施しており、監査結果については診療情報管理委員会で報告している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・所属職員：専従（ 4 ）名、専任（ ）名、兼任（ 2 ）名	
うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 2 ）名	
うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名	
うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名	
(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること	
・活動の主な内容：	
<ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。 (3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。 (6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。 (7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。 (8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。 	

- (9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。
- (10) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行なう者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：

部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。
実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。
高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：

(1) 未承認新規医薬品等使用の可否の審査

(2) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認

(3) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認

(4) 薬剤部各部署からの報告による未承認新規医薬品等の情報収集

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 197 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 79 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

　A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告

　B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：大阪公立大学）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：千葉大学）・無）

・技術的助言の実施状況

　高難度部門の構成について、医師、歯科医師以外の職種の参入を検討するようにとの助言を受け、2024 年度から看護師、臨床工学技士を構成員に追加した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

　患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

　新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4 月に初任者研修を実施し、受講させている（令和 6 年度については e-ラーニング形式または部門ごとの研修とした。）。中途採用の職員に対しても、採用月に e-ラーニング形式による研修を実施し、受講させている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

2025/ 2/14 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療安全管理責任者

2025/ 1/17 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医薬品安全管理責任者

2024/12/ 9 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療機器安全管理責任者

2025/ 2/ 3 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構（主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院）

認定期間：2020/ 3/ 6 ~ 2025/ 3/ 5

・評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況

日本機能評価機構ホームページにより公表

・評価を踏まえ講じた措置

制度に基づき、期中の確認を実施

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

◎鹿児島大学病院長候補者選考実施規則

附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- (1) 医師免許を有している者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者
- (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者

◎鹿児島大学病院長候補者選考基準

【病院長に求められる資質及び能力】

附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- (1) 医師免許を有し、教育研究及び医療行政に関する識見を持ち、中でも医学教育、医学研究及び高度医療を担う能力を有するとともに、県や医師会等と連携し地域医療へ貢献することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者
- (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者
- (4) 鹿児島大学及び鹿児島大学病院の理念の実現に必要な資質及び能力を有する者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 · 無 ）

・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにおいて公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有 · 無

- ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 · 無 ）
- ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 · 無 ）
- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 · 無 ）
- ・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにおいて公表

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
----	----	---------------	------	-------

井戸 章雄	鹿児島大学	○	病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第1号	有・無
藤澤 亘	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第1号	有・無
橋口 照人	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第2号	有・無
大脇 哲洋	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第3号	有・無
後藤 哲哉	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第4号	有・無
坪内 博仁	鹿児島市立病院長		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第5号	有・無
神川 洋一	元鹿児島県弁護士 会会长、 弁護士法人照国総 合事務所		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第5号	有・無
郡山 千早	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第6号	有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営管理、経営等に関する重要事項</p> <p>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</p> <p>(3) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>当該合議体に参加した各所属長をとおして、各部門に伝達している。また、インターネットに会議資料を掲載し、院内の職員全員が閲覧できる環境を整備している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</p> <p>大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し、意見を伺っている。</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
石塚 賢治	○	医師	病院長
榎田 英樹		医師	副病院長
西谷 佳浩		歯科医師	副病院長
大塚 隆生		医師	副病院長
大石 充		医師	副病院長
吉浦 敬		医師	副病院長
家入 里志		医師	副病院長
松永 明		医師	副病院長
谷口 昇		医師	副病院長
福田 ゆかり		看護師	副病院長
岡本 康裕		医師	病院長補佐
下堂 蘭 恵		医師	病院長補佐
又木 雄弘		医師	病院長補佐
宮園 幸江		医師	病院長補佐
田口 則宏		歯科医師	病院長補佐
曾我 欣治		医師	診療科長
花谷 亮典		医師	診療科長
高嶋 博		医師	診療科長
上田 和弘		医師	診療科長

井上 博雅		医師	診療科長
浅川 明弘		医師	診療科長
中条 哲浩		医師	診療科長
森野 勝太郎		医師	診療科長
中村 雅之		医師	診療科長
小林 裕明		医師	診療科長
山下 勝		医師	診療科長
江川 形平		医師	診療科長
寺崎 寛人		医師	診療科長
加藤 基		医師	診療科長
田中 達朗		歯科医師	診療科長
杉村 光隆		歯科医師	診療科長
玉木 直文		歯科医師	診療科長
宮脇 正一		歯科医師	診療科長
山座 治義		歯科医師	診療科長
白方 良典		歯科医師	副診療科長
西 恭宏		歯科医師	副診療科長
西條 英人		歯科医師	診療科長
奥井 達雄		歯科医師	診療科長
山口 宗一		医師	部長
五代 幸平		医師	部長
新山 修平		医師	センター長
古川 良尚		医師	部長
谷本 昭英		医師	部長
上村 修司		医師	部長
馬渡 誠一		医師	センター長
小賊 健一郎		医師	センター長
嶽崎 俊郎		医師	センター長
寺薙 英之		薬剤師	部長
弓場 裕之		理学療法士	部長代行
志茂 弘明		事務	部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- 公表の方法
鹿児島大学ホームページにおいて公表。
- 規程の主な内容
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意思決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長

【役割】医科統括・総務担当、歯科総括担当

副病院長（特命）

【役割】医療安全管理・感染制御担当、病院DX・医療情報担当、災害対策・危機管理担当
・働き方改革担当、周術期支援・手術効率化担当、医科保険診療適正化担当、看護
・患者サービス担当

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

特定機能病院管理者研修（令和6年度開催分）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員会は、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。 (2) 委員会は、必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。 (3) 委員会は、前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/> 有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/> 有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/> 有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/> 有・無） ・ 公表の方法： 		
<p>鹿児島大学病院ホームページにより公表。</p>		

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
吉村 麻里子	佐賀大学医学部 附属病院	○	医療安全管理に關する識見を有する者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律 事務所		法律に關する識見を有する者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	2
				<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
				<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
				<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に關する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
<ul style="list-style-type: none">・ 体制の整備状況及び活動内容<ul style="list-style-type: none">① 人事事務処理状況に関する監査（実地監査） 監査内容：労務基準法、労働安全衛生法等の遵守状況 実施時期：令和7年10月1日～令和7年10月31日② 個人情報管理状況に関する監査（実地監査） 監査内容：個人情報保護法等の遵守状況 実施時期：令和7年11月4日～令和7年12月12日③ 法人文書管理状況に関する監査（実地監査） 監査内容：公文書等の管理に関する法律等の遵守状況 実施時期：令和7年11月4日～令和7年12月12日④ 情報セキュリティに関する監査（実地監査）<ul style="list-style-type: none">i) 監査内容：情報セキュリティに関する脆弱性診断 実施時期：令和7年4月1日～令和8年2月27日ii) 監査内容：学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況 実施時期：令和7年11月4日～令和7年12月12日(2) 会計監査 監査内容：現金・資金管理、収入・支出、契約、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査 実施時期：（書面監査）令和7年6月2日～令和7年7月31日 （実地監査）令和7年9月1日～令和7年9月30日・ 専門部署の設置の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 内部規程の整備の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 公表の方法 鹿児島大学病院ホームページにより公表。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に
係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で、病院の経営状況について確認を行う。会議体の実施状況（年4回）会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年4回）会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・）
- ・通報件数（年0件）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（・）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・）
- ・周知の方法

鹿児島大学ホームページ及び鹿児島大学病院ホームページに掲載。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none">・情報発信の方法、内容等の概要 <p>病院概要及び病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等や各診療科の特色を発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none">・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。</p> <p>医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアを徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。</p>	